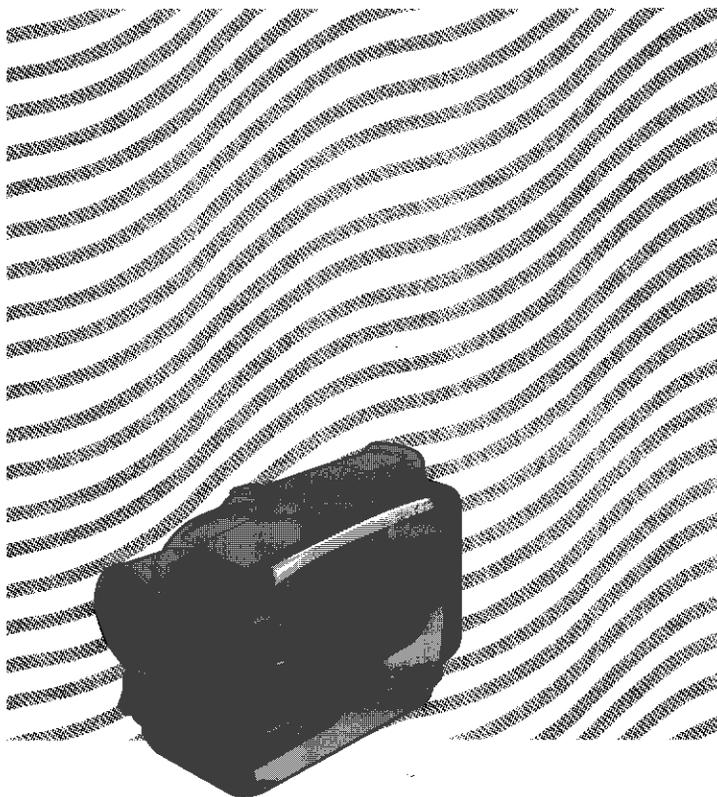


VHSビデオムービー  
GR-EX1

準備



基本



応用



その他

買い上げいただき、ありがとうございます。

使用前にこの「取扱説明書」と別紙の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保証と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は製  
号が記載されているか、またその製造番号と保証書に記載  
している製造番号が一致しているかを、お確かめください。

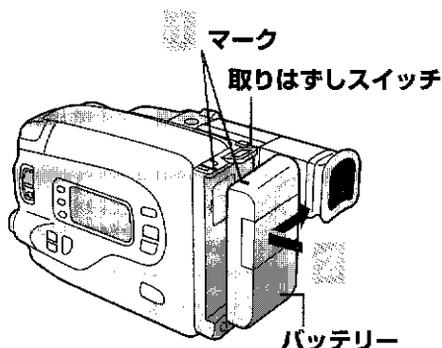
Hi-Fi  
SVHS

# いますぐに撮影したい

## 1 電源の準備

1 バッテリーを充電する

2 マークを合わせ 'カチッ' と音がするまでスライドさせる



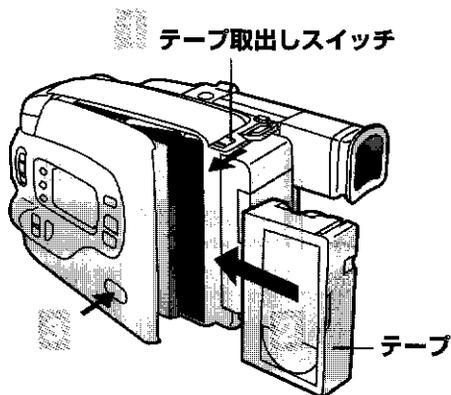
## 2 テープを入れる

1 取出しスイッチを矢印方向に押す

カバーが開きます。

2 テープを入れる

3 閉じボタンを押して、カバーを閉める



説明書に出てくるマークは

- は知っていると便利な操作や説明です。
- は正しくお使いいただくためのご注意です。
- はその数のページをあわせてご参照ください。

### 主な特長

● 遠くの被写体にもクローズアップ〈超望遠撮影〉

● **100倍デジタルスーパースーム** (被写体の大きさを変える) ----- 18

● 簡単カメラからプロ仕様へ

● **撮影3ポジション** ----- 13

● シャッター音を聴きながら楽しく撮れる

● **スピーカー搭載 連写/記念写真モード** (記念写真のように撮る) ---- 17

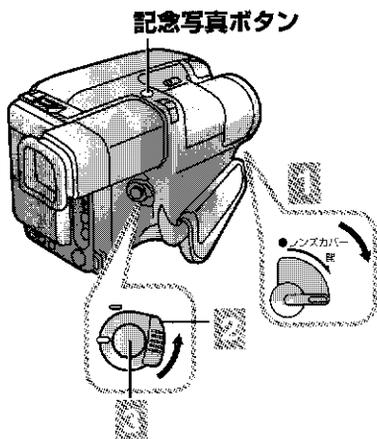
### 3 撮る

1 レンズカバーを開く

2 電源スイッチを '撮影' にする

3 スタート/ストップボタンを押す

- ピッ!と鳴り、撮影を始めます。
- もう一度押すとピピッ!と鳴り、撮影一時停止になります。



### 4 見る

1 電源スイッチを '再生' にする

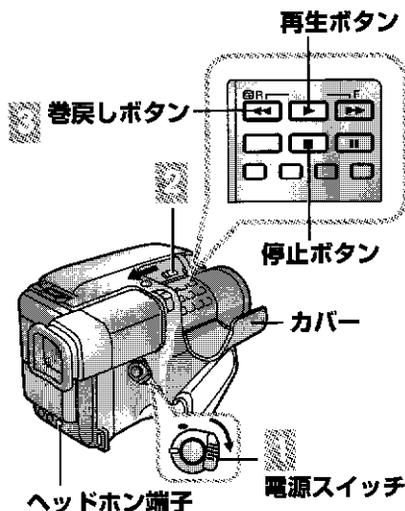
2 カバースイッチを矢印方向に押しながらかバーを開ける

3 巻戻しボタンを押す

- テープのはじめまで巻き戻すと、自動的に止まります。

4 再生ボタンを押す

- ファインダー内で見ることができます。
- 再生をやめるには停止ボタンを押します。



笑顔にグッと近寄れる 〈ふれあいワイド撮影〉

**F1.2純正ワイドコンバージョンレンズシステム** ----- 19

(付属のレンズで被写体の大きさを変える)

今ある写真に音楽をプラスして、ビデオソフトに仕上げる

**フォト・ミュージック・ビデオボタン** ----- 34

(フォトミュージックビデオを作る)

# ご使用の前に

- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
- 万一、ビデオムービーおよびテープ等の不具合により、正常に録画、録音や再生できなかった場合の、内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機はS-VHS方式のビデオムービーです。S-VHS、VHS マークの付いたコンパクトビデオテープをご使用ください。



Ni-Cd

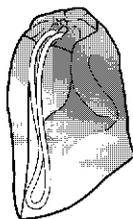
この製品に使用する電源にはニカド電池があります。ニカド電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ニカド電池の交換や廃棄の際はリサイクルにご協力ください。

● 電池の電極間ショート(短絡)防止のため、リサイクルに出す時には絶縁テープで電極をふさいでください。

## 著作権について

あなたがビデオムービーで録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。(なお、鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。)

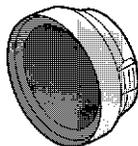
## 付属品について



### レンズ袋

ワイドコンバージョンレンズをカバンの中に入れて持ち運ぶときや、保管するときなどでお使いください。

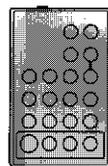
### ワイドコンバージョンレンズ



### レンズフード



### リモコン RM-V706



### 編集コード

長さ：約1.5m



### 映像/音声コード

長さ：約1.5m



### S映像コード

長さ：約1.5m



### リチウム電池 CR2025 (2個)

- ・時計用 (取り付け済み)
- ・リモコン用

# もくじ

	ページ
<b>準備</b>	
タイトル	6
撮影のポイント	6
バッテリーを取り付ける	8
バッテリー以外の電源を使う	9
テープを入れる	10
ファインダーを調節する	12
撮影3ポジションを使う	13
<b>基本</b>	
カメラ操作をする	14
●日時を入れて撮る 16 ●記念写真のように撮る 17	
●ズームで被写体の大きさを変える 18	
●付属のレンズで被写体の大きさを変える 19	
●画面の揺れをおさえる(手振れ補正) 20 ●テープの途中から撮る 21	
テープを見る	22
●見たいところを早く探す ●同じ画面を見たいときに(カウンターメモリー)	
●VHS-Cテープをデッキで見る	
<b>応用</b>	
映像に変化をつける(演出/効果)	24
場面のつなぎに変化をつける(場面切替)	26
撮影の手動調節をする	30
●ピントを合わせる ●明るさを合わせる ●アイリスを固定する	
特殊撮影をする	24
●セルフタイマー撮影 ●頭出しを簡単にする ●アニメ撮影	
●タイムラプス撮影	
フォトミュージックビデオを作る	34
メニューを使って機能を設定する	38
演出/効果を入れかえる	42
場面切替を入れかえる	44
好みの画質に合わせる	46
●カラー/ガシツ ●ホワイトバランス	
<b>その他</b>	
デッキ・テレビとの接続	50
編集する(ダビング)	52
●インサート編集/アフレコ編集 ●自動編集以外のダビング ●自動編集	
リチウム電池を入れかえる	58
日時を合わせる	59
こんなときは	62
必ずお読みください	64
海外で使う	69
各部のなまえ	70
主な仕様	75
ENGLISH QUICK OPERATION GUIDE	76
索引	78
保証とアフターサービス	79

準備

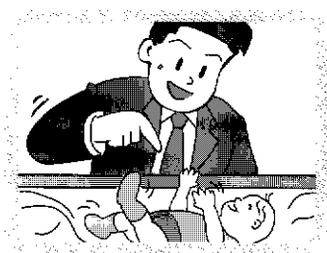
基本

応用

その他

# 撮影のポイント

## 室内撮影



### 寝ている赤ちゃんをアップで撮る

ズームを最広角にしても、赤ちゃんを近くで撮ることができないことがあります。付属のワイドコンバージョンレンズを使うと、赤ちゃんに近づいて全身をいれて撮ることや、カメラを振り回さず、室内を動き回る赤ちゃんを撮ることができます。19

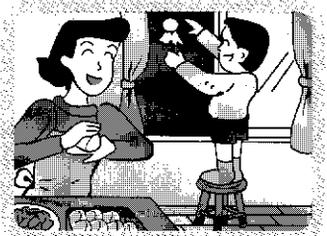
### 画面がチラつくとき

蛍光灯や水銀灯のしたで撮ると、画面がチラつくことがあります。そんなときは、演出/効果の 'S 1/100' を使うと画面は暗くなりますがチラつきは少なくなります。25

### テレビ画面を撮るとき

ムービーでテレビ画面を撮ると、テレビに太い黒い帯ができてしまいます。演出/効果の 'S 1/60' を使うと帯は細くなります。25

## 運動会

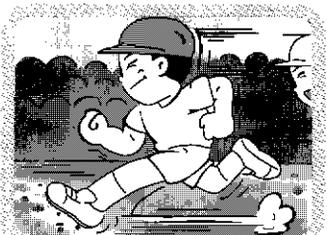


### 前日、当日の朝の場面も撮る

子供やお母さんが、運動会の準備をしているところを冒頭にいれておけば、ぐっと雰囲気盛り上がります。日時も合わせておきましょう。61

### 子供の全力疾走シーンを撮る

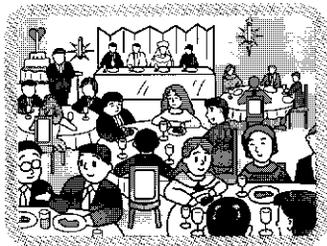
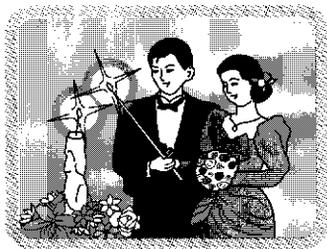
子供の全力疾走シーンなど、躍動感あふれる被写体を狙うときは、演出/効果のスポーツを使いましょう。静止画再生したときに、子供をブレの少ない映像で映すことができます。24



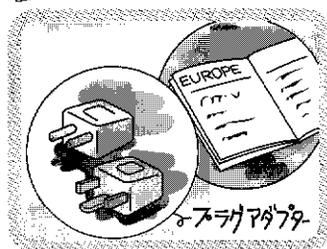
### 競技のつなぎを変化をつけて撮る

競技と次の競技を続けて撮ると時間の変化がわかりづらくなります。そこで競技のつなぎに場面切替を使うと、映画のように自然な映像のつなぎをすることができます。26

## 結婚式



## 海外旅行



### キャンドルサービスを撮る

キャンドルサービスのときは会場を暗くして、ろうそくの光だけが灯ります。ムービーは、自動的に明るく撮ろうとするので暗く撮れません。こんなときは、メニューのカンドアップを‘切’に合わせてください。暗いシーンをそのまま撮影できます。 39

### 乾杯のシーンなど会場全体を撮る

乾杯シーンなどは音頭取りの人を含めて、全体が入るようにしたいものです。ズームを最広角にしても入り切らないときは、付属のワイドコンバージョンレンズをお使いください。広角撮影ができるので、広い室内での撮影でも全体を撮ることができます。 19

### 自分の成長記録を結婚式に使う

披露宴には、子供の時から今までの思い出写真に音楽を付けて‘フォトミュージックビデオを作る’で作った感動的な映像を使うと効果的です。 34

### 訪問国のコンセント形状を調べておく

電源コンセントの形状は国によって違うので、必要ならプラグアダプターを用意しておきましょう。 69

### 時差を合わせる

海外にいるときはやはり、現地の時間に時計を合わせたいものです。日時設定のところで時差を合わせてください。時差を引いた（あるいは足した）時間を表示します。 60

### スナップ感覚で撮る

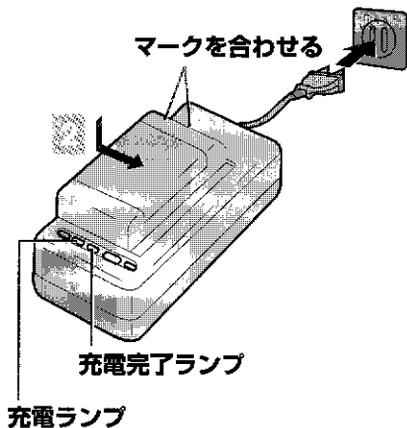
見るもの聞くもの全てめずらしい外国、カメラを振り回しがちになりますが、スナップ感覚でカットを多く撮りましょう。記念写真を使うと効果的です。 17

# バッテリーを取り付ける

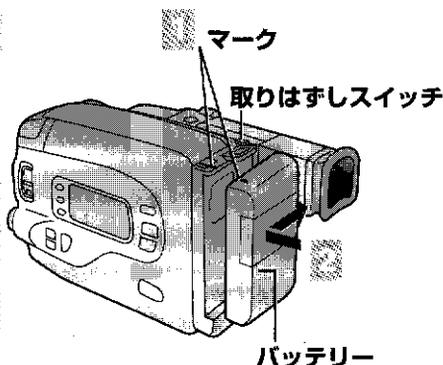
出荷時は充電されていません。ACパワーアダプターの取扱説明書もお読みください。バッテリーについて **64** もお読みください。

## ACパワーアダプター AA-V11 (別売)

**コンセント**  
家庭用AC100V



## バッテリー-BN-V12 (別売)



### 充電する

**1** プラグをコンセントに差し込む

**2** バッテリーを‘カチッ’と音がするまでスライドさせる

充電中 → 充電ランプが点灯

充電完了 → 充電完了ランプが点灯

● バッテリーをはずすには取り付けと逆の手順でおこないます。

バッテリー	充電時間
BN-V12	約1時間10分
BN-V15	約1時間25分
BN-V22	約2時間10分
BN-V25	約2時間40分
BN-V50	約2時間50分
BN-V65	約2時間10分

### ムービーに取り付ける

**1** 充電したバッテリーをマークと合わせて押し込む

**2** 矢印方向に‘カチッ’と音がするまでスライドさせる

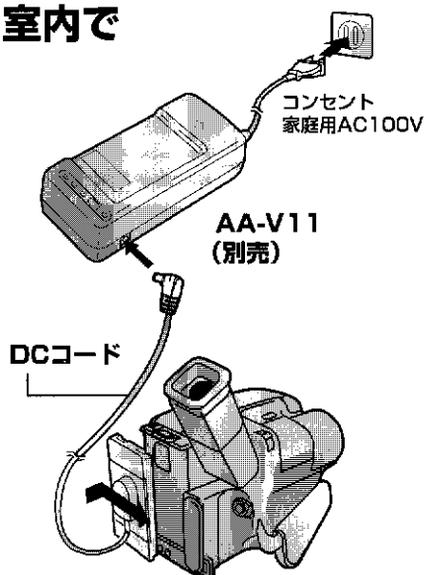
はずすには  
取りはずしスイッチを押しながら  
取り付けと逆方向にはずす

- 65**
- ACパワーアダプターは、AC (交流) 100 ~ 240V、50 / 60 Hz 仕様です。海外でも使用できます。**69**
  - その他、室内用や車で使える電源類もあります。(右ページ)
  - バッテリーの撮影時間は主な仕様をご覧ください。**75**

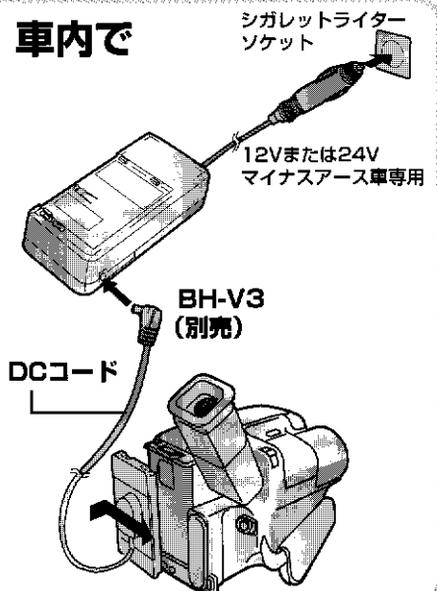
# バッテリー以外の電源を使う

室内ではACアダプター AA-V11 (別売) を、車ではカーバッテリーチャージャー BH-V3 (別売) を使用します。

## 室内で



## 車内で



準備

## 家庭のコンセントから使う

家庭のコンセントから直接電源を利用できます。

- バッテリーの充電もできます。
- AC (交流) 100~240V、50 / 60 Hz 仕様です。
- 海外でも使用できます。

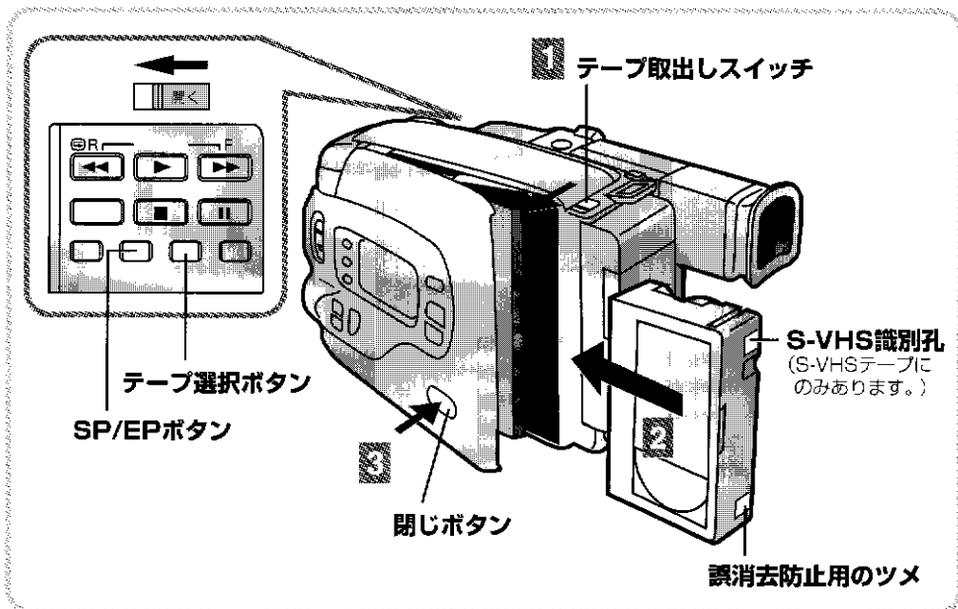
## 車の中で使う

車のシガレットライターソケットからムービーへ電源を送ります。

- バッテリーの充電もできます。
- 日本車、米国車、欧州車対応です。
- 取り付け/取りはずしは、バッテリーと同じです。
- 電源供給のみのカーバッテリーコードAP-V7 (別売) で車のシガレットライターソケットを利用して電源を供給できます。

# テープを入れる

バッテリーを付けていれば電源を入れなくてもカバーを開けることができます。



## 1 テープ取出しスイッチを矢印方向に押す

●カバーが開きます。

## 2 テープを入れる

●奥まで確実に入れてください。

## 3 閉じボタンを押してカバーを閉める

●カチッと音がします。



誤って大切な記録を消さないために  
'ツメ' を折ります。

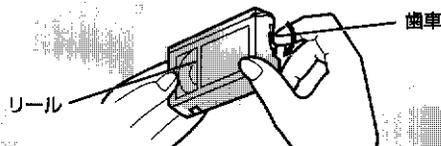


再び撮影するときは、ツメの部分にゼロハンテープを二重に貼ります。



テープのたるみは、テープを傷める原因になります

ご使用前にリールと一緒に動くまで歯車を矢印方向に回してたるみをなくしてください。



テープの出し入れだけを繰り返すことも、たるみの原因になります。

'ツメ' の部分がスライド式の場合は

誤消去防止用のツメ(フタ)



撮影するときは ON 側にしてください。

## 使用テープと録画方式

使用テープ	録画方式	S-VHS表示/用途
	S-VHS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・S-VHS録画をします。</li> <li>・LCDパネルとファインダーに「S」を表示します。</li> </ul>
	VHS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・VHS録画をします。</li> <li>・「S」表示は消えます。</li> </ul>

- S-VHS録画したテープはVHSデッキでは正常に再生できません。
- S-VHSデッキまたはSQPB（S-VHS簡易再生機能）付デッキで再生してください。
- S-VHSテープでVHS録画するときは、S-VHS識別孔の部分に、セロハンテープを二重に貼ります。

## 録画モード

SP/EPボタンで選ぶ

SP（高画質モード）	標準の録画モードです。画質と音質を重視するときや、後で編集（ダビング）するときにおすすめします。
EP（長時間モード）	3倍で撮ることができます。テープを経済的に使いたいときにおすすめします。

- EPモードで録画したテープは標準（SP）専用VHSデッキでは再生できません。
- 撮影途中でSP/E Pを切り替えると、その部分で再生画像が乱れます。

## 残量表示テープ選択

テープ選択ボタンを押して使用するテープに合わせる

表示	20	30	40
使用テープ	20分テープ	30分テープ	40分テープ

### 録画モードとテープ残量の表示

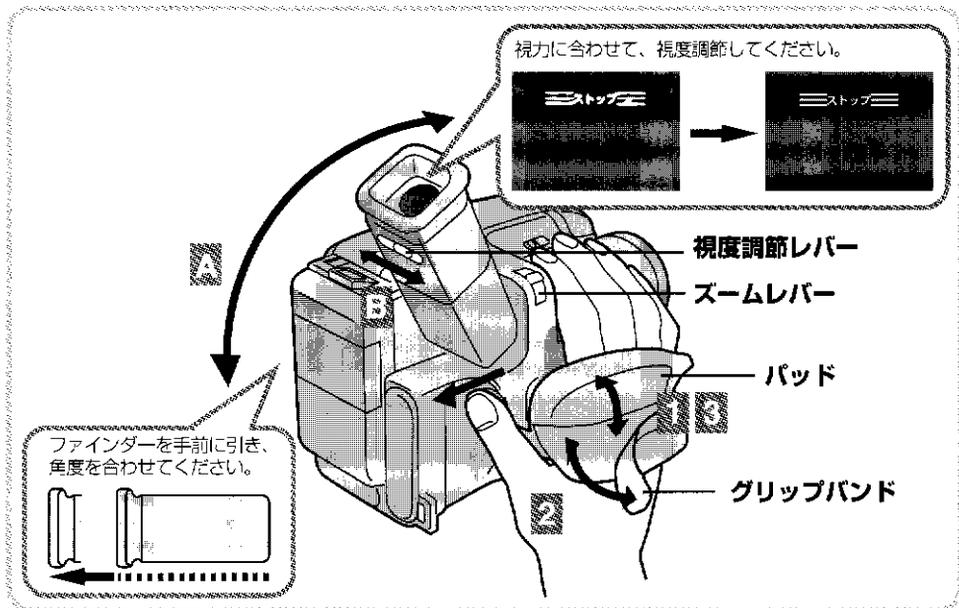
撮影中は、自動的にファインダー内にテープの残り時間の目安と選んだ録画モードを表示します。  
40分テープをEPモードで撮影した場合



（ファインダー内）

→ 119分 → 3分 → 2分 → 1分 → 0分  
 ・テープが終わると、ファインダー内に「テープオウリ」を表示します。

# ファインダーを調節する



## グリップバンドの調節

ズームレバーとスタート/ストップボタンを操作しやすいように、指を置いてください。

**1** パッドをはすす

**2** しっかり持てるように、グリップバンドを調節する

**3** パッドをはり付ける

## ファインダーの調節

ファインダー内の画面が見やすいように調節します。

**A** ファインダーを手前に引き、見やすい角度に調節する

**B** ファインダー内の画面がはっきり見えるように、視度調節する

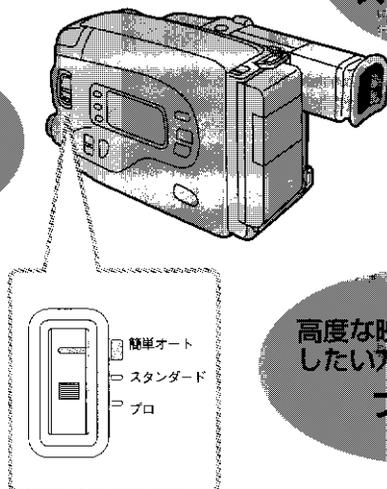
●電源スイッチを「撮影」にし、視度調節レバーをスライドさせ、調節します。

# 撮影3ポジションを使う

使い方に合わせて3通り選べるお好みスイッチ

準備

初めてお使いになる方は  
簡単オート 14



ちょっと慣れてきたら  
スタンダード 24

高度な映像表現で撮影  
したい方は  
プロ 38

お好みスイッチのポジションによって、いろいろな撮影機能が楽しめます。

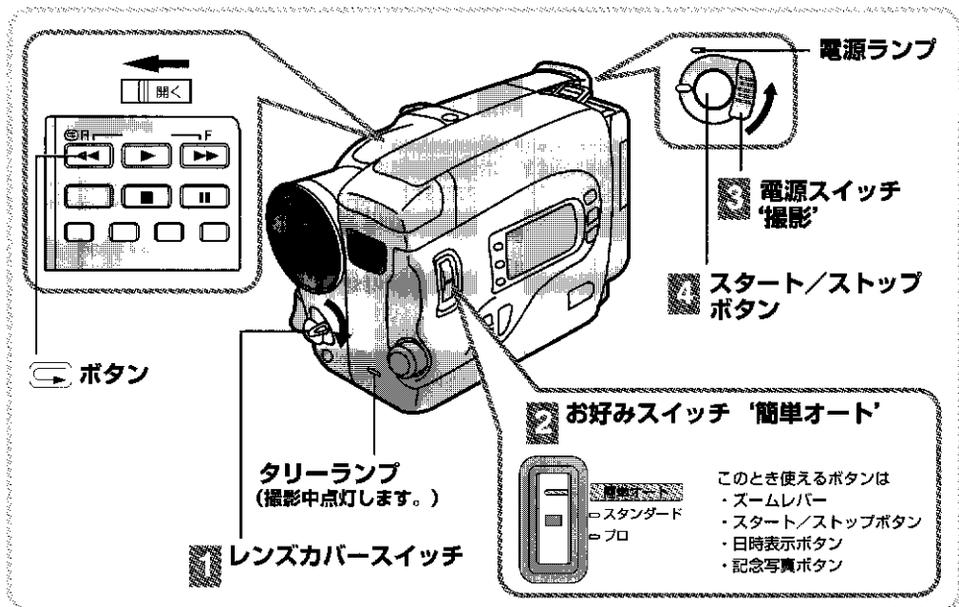
機能	お好みスイッチの3ポジション			参照 ページ
	簡単オート	スタンダード	プロ	
手振れ補正	自動	入/切	入/切	20
明るさ(補正)	自動	自動/手動	自動/手動	31
ピント合わせ	自動	自動/手動	自動/手動	30
デジタルズーム	自動	入/切	入/切	39
演出/効果	× (働かない)	○	○*	24 42
場面切替	× (働かない)	○	○*	26 44

・撮影以外の操作には関係ありません。

\* “プロ” ではメニュー画面を使って、他の機能と入れかえることができます。

# カメラ撮りをする

準備 (● ~ ●) をしてから撮影します。お好みスイッチの簡単オートは初級者向けです。まずは「簡単オート」で撮ってみましょう。



**1** レンズカバースイッチを開く

**2** お好みスイッチを「簡単オート」にする

**3** 電源スイッチを「撮影」にする

●電源ランプが点灯し撮影一時停止になります。

●ファインダーを手前に引き角度を合わせてください。●

撮影一時停止



(ファインダー内)

**4** スタート/ストップボタンを押す

●ピッ!と鳴り、撮影を始めます。

撮影中



(ファインダー内)

●撮影を中断するときには、スタート/ストップボタンを押してください。ピッ!と鳴り、撮影一時停止になります。

撮影をやめるときは  
撮影一時停止のときに  
電源スイッチを「切」にする

### 撮影一時停止を5分以上続けると

節電のため電源が切れます。再び撮影するには電源スイッチを一度「切」にしてから再び「撮影」にします。テープの出し入れや再生をしないかぎり、スタート/ストップボタンできれいにつなぎ撮りできます。

### レンズカバーは

ムービーのレンズを保護します。持ち運びのときは閉めてください。

### 撮影一時停止とは

電源スイッチを「撮影」にし、テープを入れた撮影準備状態のことです。

### 撮影の確認(クイックレビュー)

撮影一時停止で  ボタンをポンと押すと最後のシーンを約2秒間再生し撮影の確認ができます。終わると撮影一時停止に戻ります。

### 録画スタート/ストップを音で知らせる

録画スタート時は「ビッ！」

録画ストップ時は「ビビッ！」

と電子音が鳴ります。

お好みスイッチが「スタンダード」か「プロ」で、メニュー表示のトリガーアラームを「切」にすると、電子音は鳴りません。

## より安定した撮影のためには 姿勢が大切です

壁や柱によりかかり  
安定させる

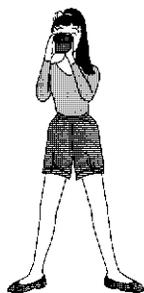


低い位置の撮影



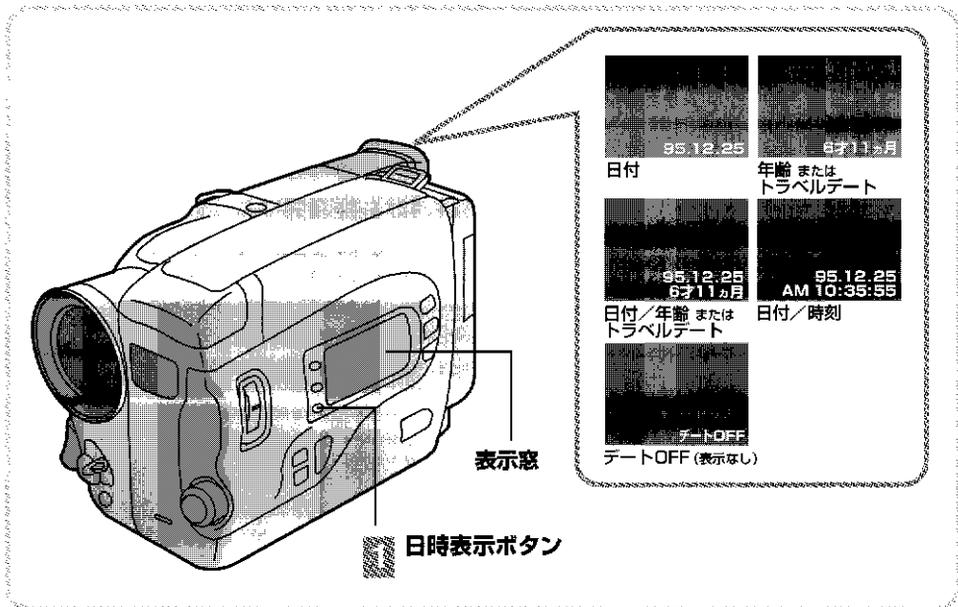
左手もビデオカメラ  
にそえる

わきをしめる



足は少し開き  
しっかり構える

# カメラ撮りをする (つづき)



## 日時を入れて撮る

日時表示はお好みの表示のしかたを選ぶことができます。お買い上げ時には既に、日時を合わせてあります。ファインダー内の  $\square$  表示が点滅し、日時を表示しない時は、リチウム電池を入れかえ、日時を合わせなおしてください。

### 1 日時表示ボタンを押す

●押すごとに切り替わります。

- ▶ 日付
- ↓
- 年齢またはトラベルデート※
- ↓
- 日付/年齢またはトラベルデート※
- ↓
- 日付/時刻
- ↓
- オンスクリーンモード ④
- ↓
- デートOFF (表示なし)

※年齢またはトラベルデートを設定した場合に表示します。④



### 日時表示を消したいときは

日時表示ボタンでデートOFFを選んでください。

表示窓では—:—:—の表示となります。

### 時間が狂うことがある

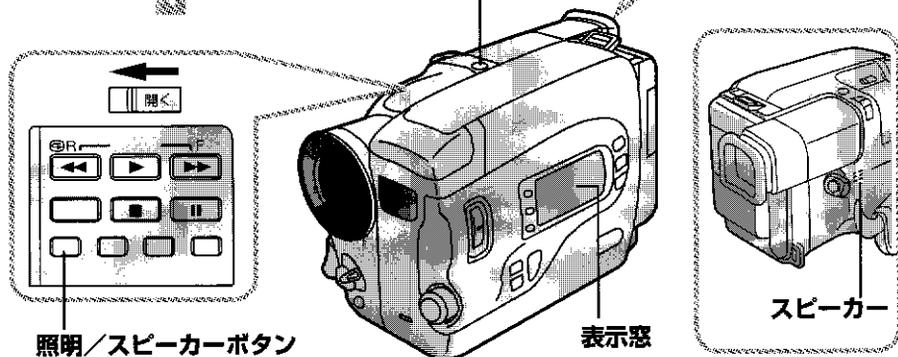
ムービーは使用環境によって時間が狂うことがあります。故障ではありません。正確な時間に合わせたい時は、日時を合わせなおしてください。

### オンスクリーンモードのとき

日時表示は日付/年齢またはトラベルデート※を表示します。



記念写真ボタン



照明/スピーカーボタン

表示窓

スピーカー

## 記念写真のように撮る

記念写真のような効果を入れて撮影できます。

### 記念写真ボタンを押す

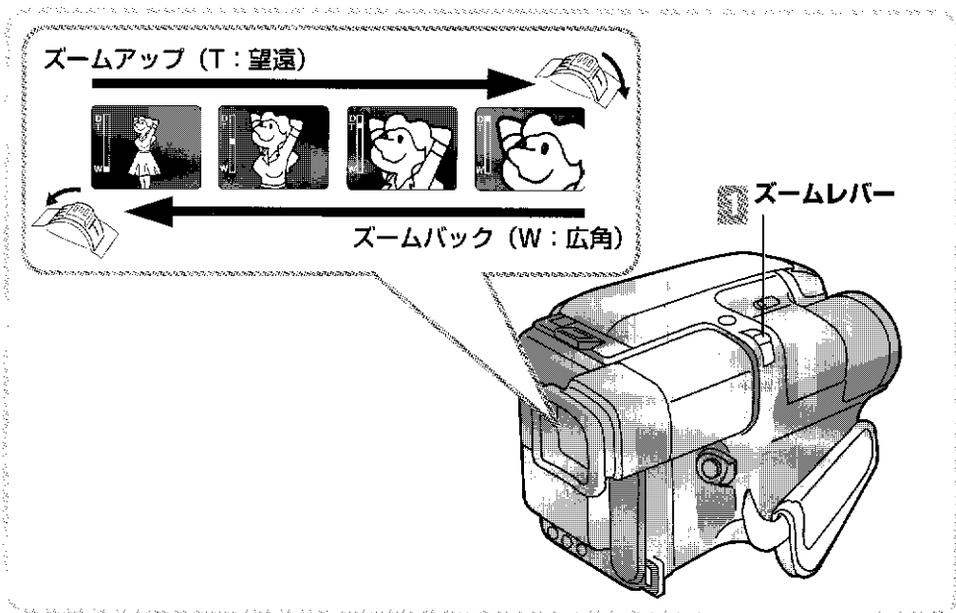
- ファインダーに「PHOTO」が表示され、白ワク付きの静止画像になります。
- 撮影一時停止で使うと、静止画像を3秒間撮影し、撮影一時停止になります。撮影中に使うと、静止画像を3秒間撮影したあと、通常の撮影にもどります。
- 音は、通常の音声にかシャツという効果音をあわせて記録します。
- 撮影中、この効果音をスピーカーで聞くことができます。音を出したくないときは照明/スピーカーボタンを押してください。このとき表示窓も消灯します。



### 記念写真ボタンを押し続けると

あたかもスナップ写真を連写したように、白ワク付きの静止画像を連写します。(リモコンではできません。)

# カメラ撮りをする (つづき)



## ズームで被写体の大きさを変える

ズームレバーで被写体のズームアップ/ズームバックができます。(簡単オートでは、20倍ズームまでできます。)

**1** ズームレバーをTまたはW側にスライドさせ、被写体を好みの大きさにする



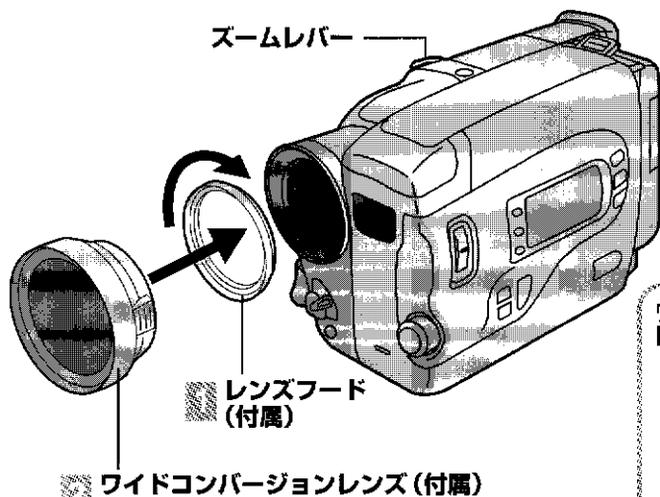
ズームのスピードを変えるには  
ズームレバーを軽く押すとゆっくり、強く押すと早くなります。

ズームの倍率を変えるには

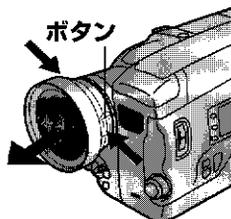
10倍にするときは、メニュー表示のズームパイルツで '×10' を、100倍にするときは '×100' を選んでください。10倍以上のズームでは、デジタルズーム(電氣的に映像を処理している)なので、10倍ズームより映像が劣化します。

マクロ撮影

ズームを広角側(W側)でレンズ全面から約1.5cmまで接写できます。被写体に近づき撮影したいものを画面の中央に入れてください。



ワイドコンバージョン  
レンズを取り外すとき



## 付属のレンズで被写体の大きさを変える

付属のコンバージョンレンズを使って撮影すると、ズームの広角側よりさらに広角撮影ができます。狭い室内での撮影で、被写体を捕え切れないときや、子供の顔などを近い距離ではみ出さずに、画面いっぱいに撮りたいときに使うと効果的です。

**1** レンズフードを矢印方向に  
ねじ込む

**2** ワイドコンバージョンレンズ  
を矢印方向に差し込む

ワイドコンバージョンレンズを取り外す

矢印方向にボタンを押しながら取  
りはずす

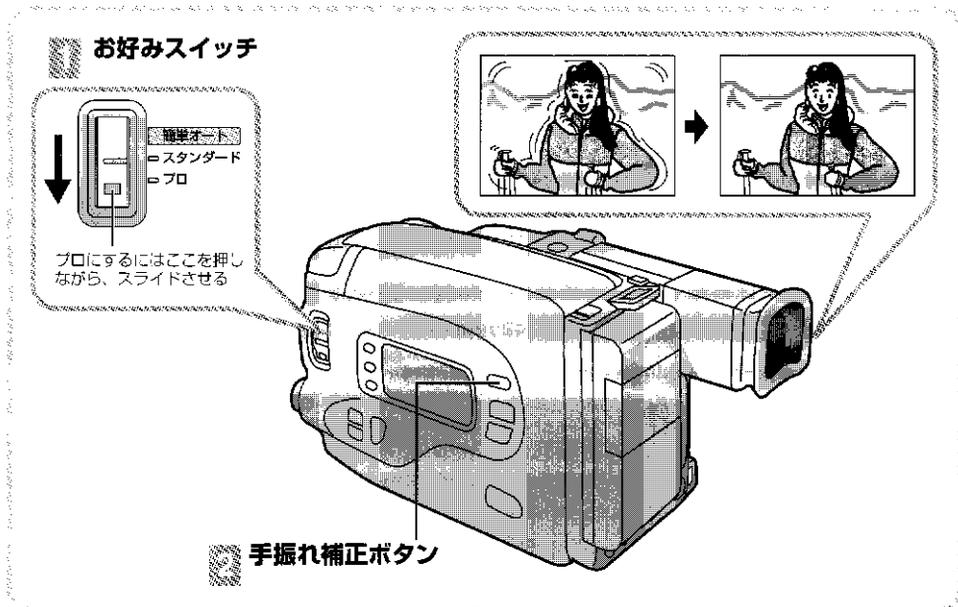
●このときレンズフードはムービーに取り付け  
られたままになります。晴れた日の屋外撮影  
に便利です通常はこの状態でお使いください。

ワイドコンバージョンレンズを取り付けたとき  
明るさが不足すると、輪郭がボケたり、白く  
浮いた画像になる場合があります。十分に明  
るいところでお使いください。

レンズキャップは

ワイドコンバージョンレンズのレンズ面を保  
護します。持ち運びのときや、保管するとき  
は、レンズキャップを取り付けてください。  
さらに、付属のレンズ袋に入れておくと、  
キャップがはずれにくくなるので、レンズ面  
の保護に効果的です。

# カメラ撮りをする (つづき)



## 画面の揺れをおさえる (手振れ補正)

通常はファインダー内に  が表示され、アップで撮影するときなどに起こる比較的小さな画面の揺れを、自動的に補正します。三脚を使ったり、ムービーを固定して撮影するときは、手振れ補正を切ってください。入のままだと、動く被写体に合わせて手振れ補正し、動いていない被写体も動いているように見えてしまいます。

手振れ補正を切るには、

**1** 電源スイッチを '撮影' にし、お好みスイッチを 'スタンダード' か 'プロ' にする

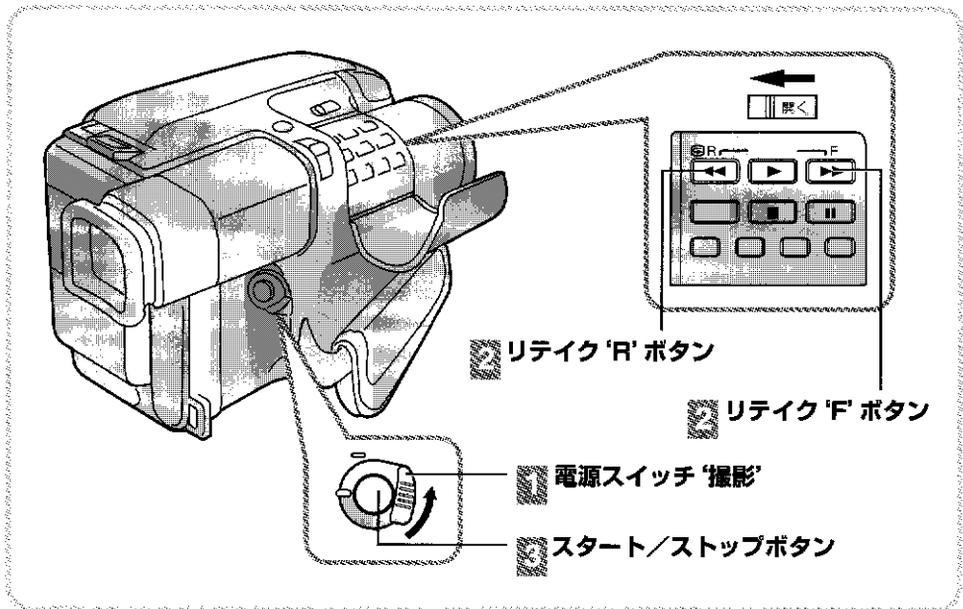
**2** 手振れ補正ボタンを押す

- ファインダー内の  が消え、手振れ補正が切れます。
- もう一度手振れ補正を '入' にしたいときは、手振れ補正ボタンを押すか、お好みスイッチを簡単オートにします。



### 手振れを補正できないとき

- ・手振れが大きい場合は、補正ができないときがあります。
- ・演出／効果や場面切替の機能によっては、手振れ補正が動かないものもあります。そのとき、手振れ補正マーク  が点滅します。手振れ補正できない機能は、演出／効果の映画効果1/2/3、ストロボ1/2/3、コウカント1/2/3と、場面切替の映像ワイプで前の映像を記憶しているときです。   



## テープの途中から撮る

つなぎめのノイズをなくして撮影します。

- 1 電源スイッチを '撮影' にする
- 2 リテイク 'R' か 'F' ボタンを押し続ける
  - ファインダー内で、つなぎ撮りしたいところを探します。
  - ボタンから指を離すと撮影一時停止に戻ります。
- 3 スタート/ストップボタンを押す
  - 新たに撮影を始めます。



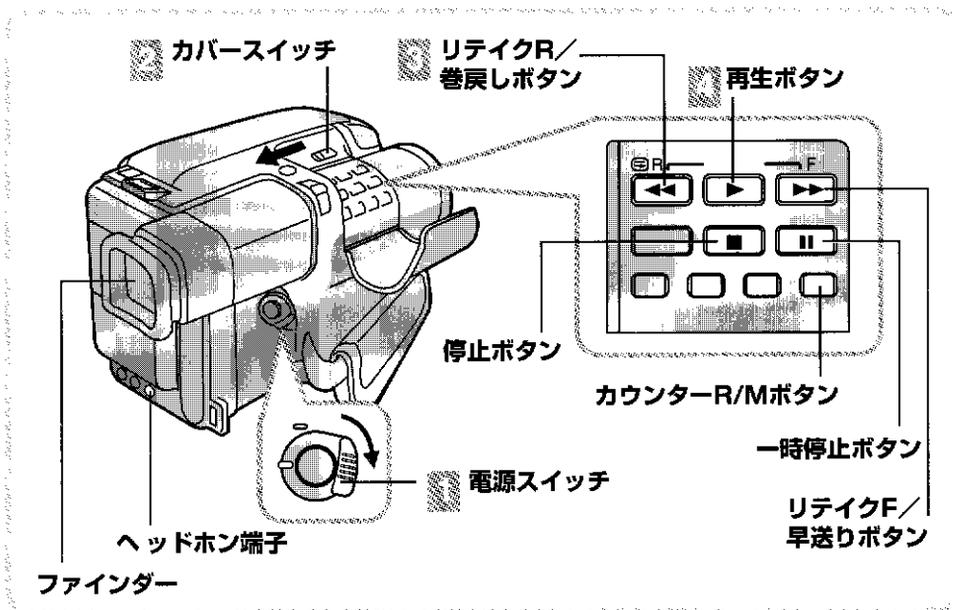
**画像が乱れる**  
リテイク中、画像が乱れることがありますが、故障ではありません。



**リテイクの再生方向**  
Fボタン：テープを正転再生します。  
Rボタン：テープを逆転再生します。

# テープを見る

撮影した映像をファインダー内で見ることができます。



1 電源スイッチを '再生' にする

2 カバースイッチを矢印方向に押しながら、カバーを開ける

3 巻戻しボタンを押す  
●テープの始めまで巻き戻すと自動的に停止します。

4 再生ボタンを押す  
●ファインダー内で見ることができます。  
●ヘッドホン端子に、市販のヘッドホンを接続すると、再生時の音声を聞くことができます。



素早く早送り、巻戻しをしたいときは早送り／巻戻しボタンを約2秒以上押します。(このとき、カウンターは-:--:--になり、次に使うときは0:00:00 になります。カウンターメモリーは使えません。)

再生時の音声をHIFI/ミックス/ノーマルに切りかえることができます。●●

・ミックスにすると聞きづらいことがありますので、通常はHIFIの位置にしてください。

再生をやめるには  
停止ボタンを押す

## 見たいところを早く探す

### 再生中に早送りボタンまたは巻戻しボタンを押しつづける

- 見たい場面になったら指を離します。
- 指を離しても早送り／巻戻し再生するにはボタンをポンと一度押し、見たいシーンで再生ボタンを押します。



再生画を一時止めるには

再生中に一時停止ボタンを押します。再生ボタンを押すと、再生されます。早送り／巻戻し再生や静止画再生中にでる画面のノイズは故障ではありません。特にSP(高画質)モードで多くなります。また音声はできません。

## 同じ画面を見たいときに(カウンターメモリー)

再生を始めたいところで、巻き戻し／早送りを自動的に止めることができます。

### 1 再生中に、見たい場面でカウンターR/Mボタンを約1秒押す

- カウンターが0:00:00になります。



### 2 カウンターR/Mボタンをポンと押す

- カウンターが00:00:00になります。
- テープを停止させ、巻戻しボタンを押すと、カウンターが00:00:00付近で自動的に止まります。(早送り時にも使えます。)
- カウンターメモリーを取り消したいときは、カウンターR/Mボタンを押して'M'を消してください。

## VHS-Cテープをデッキで見る

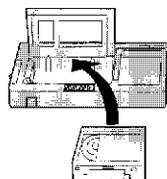
カセットアダプターC-P6(別売)を使えば、ムービーを接続しなくても、そのままデッキで見ることができます。



S-VHSで録画したテープを見る

S-VHSで録画したテープはS-VHSデッキまたはSQPB(S-VHS簡易再生機能)付デッキでのみ再生できます。VHSデッキで再生する場合は、VHS-Cテープで撮影してください。また、ご家庭のデッキがVHSデッキの場合、ムービーをデッキあるいはテレビに接続して、ムービーで再生すればS-VHSで録画したテープを見ることができます。

カセットアダプター



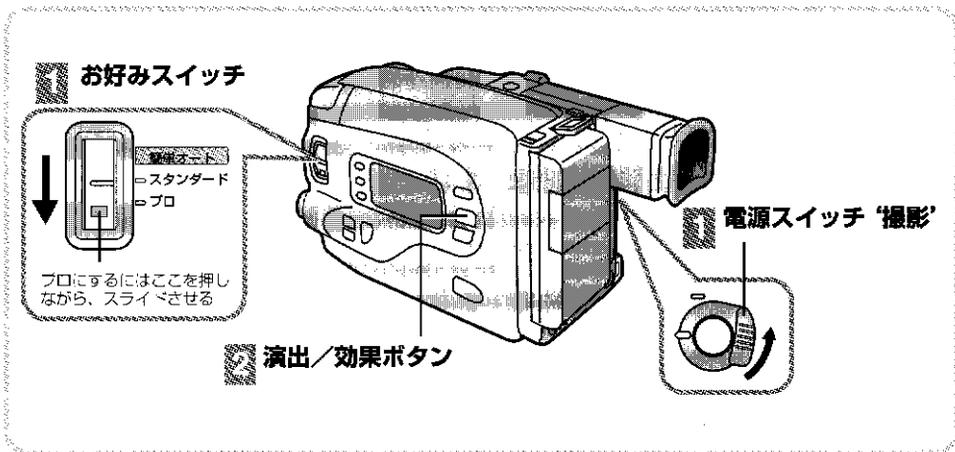
テープ

VHSまたはS-VHS方式のデッキ



# 映像に変化をつける (演出/効果)

映像に変化をつけたいときにお使いください。スタンダード撮影では5種類の中から、プロ撮影では19種類の中から選べます。



**1** 電源スイッチを '撮影' にし、お好みスイッチを 'スタンダード' か 'プロ' にする

**2** 演出/効果ボタンを押す

- 演出/効果メニューが出ます。
- 押すごとに▶が移ります。お好みの項目を選んでください。

やめるときは演出/効果ボタンを2回押す

- 演出/効果メニューが出て、▶が '切' を選びます。



撮影中に選ぶこともできます。

右以外にある演出/効果を使う場合はお好みスイッチのプロ位置で使いたい機能を選んで下さい。(メニューの使い方 38、39)

場面切替と併用できます 38

撮影時に場面切替を設定してあれば、いろいろ効果的な映像を、お楽しみいただけます。(併用できない機能は表示が点滅します。)

**2** のファインダー内

スタンダード	プロ
<p>切</p> <p>▶切 1 2 3 4 5</p> <p>シネマ1 スポーツ ライブ セピア 白黒</p>	<p>切</p> <p>▶切 1 2 3 4 5</p> <p>1 エイゴ効果1 2 コースト 3 コクカンド×4 4 セピア 5 ストロボ2</p>
<p>切</p> <p>▶切 1 2 3 4 5</p> <p>シネマ1 スポーツ ライブ セピア 白黒</p>	<p>切</p> <p>▶切 1 2 3 4 5</p> <p>1 エイゴ効果1 2 コースト 3 コクカンド×4 4 セピア 5 ストロボ2</p>
<p><b>2秒後</b></p> <p>☑</p> <p>≡ストップ≡</p>	
<p>●ファインダーに表示が出て、選んだシーンの設定になります。</p>	

## B/W 白黒

なつかしい白黒映画のように、映像が白黒に写ります。

## セピア

思い出の写真のように、映像が古い写真のようなセピア色で写ります。

## シネマ 1, 2, 3



上下に黒い帯を入れて、縦と横の比率が16:9の横長画面で、映画のように写ります。

シネマ1: カラー画面で写ります。

シネマ2: 白黒画面で写ります。

シネマ3: セピア色画面で写ります。

## 映画効果 1, 2, 3

シネマ1,2,3のように、上下に黒の帯を入れて、コマ落とし効果を出して写します。

映画効果1: カラー画面で写ります。

映画効果2: 白黒画面で写ります。

映画効果3: セピア色画面で写ります。

## ストロボ 1, 2, 3



コマ落としの効果で、連続写真のように写します。

ストロボ1: 速いコマ落とし効果を出して写します。

ストロボ2: やや速い効果を出して写します。

ストロボ3: ゆっくりとした効果で写します。

## ヤケイ



夕日が沈むときなどの夜景をとるとき、自然な感じで写します。

●ピントが合わないときは手動で合わせてください。

●ホワイトバランスをかえることもできます。

## ゴースト



被写体が何重にも重なって映ります。  
幻想的なイメージです。

## スポーツ



シャッタースピードを速くするので運動会など、動きのある被写体をとるときなどに効果的です。周囲の明るさによって、シャッタースピードは1/250~1/500秒間で自動的に変わります(通常でのシャッタースピードは1/30~1/200秒間で自動可変です)。後でスロー再生や静止画再生したとき被写体をブレの少ない映像で楽しめます。(スロー再生、静止画再生機能のついたデッキで再生したときのみです。)

●被写体に合わせてシャッタースピードを変えるため、画面の明るさが変わることがあります。

## 1, 2, 3 コウカンド(高感度)



暗くて写らなかつたものも、明るく浮かび上がらせ、通常の撮影よりも、さらに明るく写すことができます。

コウカンド×4: 約4倍明るくなります。(1/15秒シャッター)

コウカンド×10: 約10倍明るくなります。(1/6秒シャッター)

コウカンド×60: 約60倍明るくなります。(1/1秒シャッター)

コウカンドをお使いのときは、

●コマ落としのような映像になります。

●暗いところのみでお使いください。

●手動フォーカス表示が出て、点滅することがあります。

●ピントが合わないときは手動で合わせ、三脚などで固定して撮影してください。

## 1 S 1/60

1/60秒シャッターで、固定して撮影できます。テレビ画面などを直接撮ると、画面に黒い帯が映ります。電源が50Hz地域の場合は、1/60秒シャッターにすると、画面は暗くなりますが、黒い帯は細くなります。

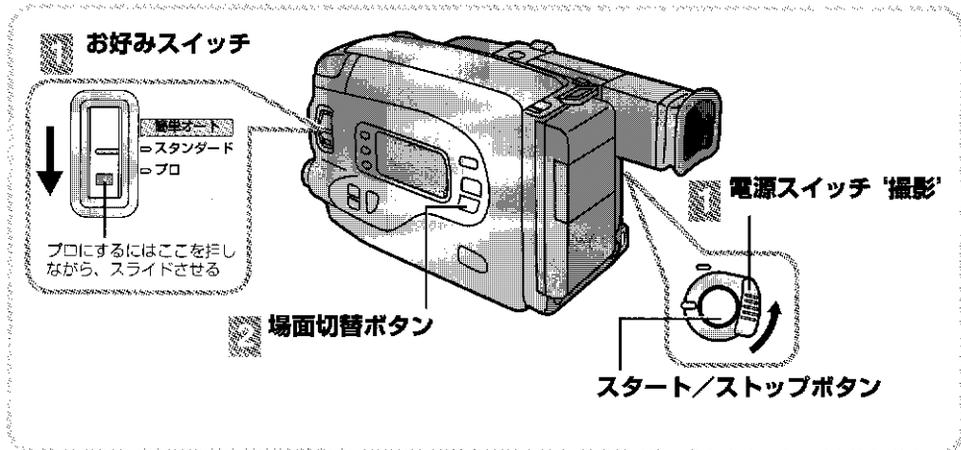
## 2 S 1/100

1/100秒シャッターで、固定して撮影できます。蛍光灯や水銀灯の光で撮影すると、画面がチラつくことがあります。1/100秒シャッターにすると、画面は暗くなりますが、チラつきは少なくなります。

応用

# 場面のつなぎに変化をつける (場面切替)

スタンダード撮影では5種類の中から、プロ撮影では19種類の中からいろいろなフェードイン/フェードアウト、ワイプイン/ワイプアウトが選べます。



**1** 電源スイッチを‘撮影’にし、お好みスイッチを‘スタンダード’か‘プロ’にする

**2** 場面切替ボタンを押す  
 ● 場面切替メニューが出ます。  
 ● 押すごとに▶が移ります。お好みの項目を選んでください。  
 ● 撮影するときは **A B C D** でそれぞれの手順をおこなってください。27 28

**3** やめるときは  
 場面切替ボタンを2回押す、  
 ● 場面切替メニューが出て、▶が‘切’を選びます。

フェード状態の長さを変えるには  
 スタート/ストップボタンを押している間は  
 フェード/ワイプ状態がつづきます。

## 演出/効果と併用できます

撮影時に演出/効果を設定してあれば、いろいろな効果的な映像を、お楽しみいただけます。(併用出来ない機能は表示が点滅します。)

**2** のファインダー内

スタンダード	プロ
切 ▶切 1 2 3 4 5 [白] [X] [P] 白フェーダー モイクフェーダー XX1 オートセレクト1 コナーワイプ オーララップフェーダー	切 ▶切 1 2 3 4 5 [白] [X] [P] 白フェーダー 黒フェーダー ウィンドウワイプ シャッターワイプ ドアワイプ
[白] ▶切 [X] [P] 白フェーダー モイクフェーダー XX1 オートセレクト1 コナーワイプ オーララップフェーダー	[白] ▶切 [X] [P] 白フェーダー 黒フェーダー ウィンドウワイプ シャッターワイプ ドアワイプ
<b>2秒後</b> [白] ≡ストップ≡	
● ファインダーに表示が出て、選んだ機能の設定になります。	

右以外にある場面切替を使う場合は  
 お好みスイッチのプロ位置で使いたい機能を選んでください。(メニューの使い方 28、30)

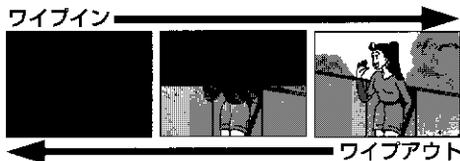
## フェーダー

写真は  白フェーダーの例です。



## ワイブ

写真は  スクロールワイブの例です。



黒フェーダー  
真っ黒な画面で、フェードイン/アウトします。

白黒フェーダー  
白黒画面からカラー画面にフェードイン、カラー画面から白黒画面にフェードアウトします。

モザイクフェーダー  
画面全体にモザイクがかった画面でフェードイン/アウトします。

シャッターワイブ  
真っ黒い画面から、中央から上下に徐々にワイブイン、上下から中央にワイブアウトします。

スライドワイブ  
真っ黒い画面が、右から左へ徐々にワイブイン、左から右へワイブアウトします。

ドアワイブ  
真っ黒い画面が、左右にドアを開けていくようにワイブイン、閉めていくようにワイブアウトします。

コーナーワイブ  
真っ黒い画面が、右上から左下へ徐々にワイブイン、左下から右上へワイブアウトします。

ウィンドウワイブ  
真っ黒い画面が、画面中心から徐々にワイブイン、画面の中心へワイブアウトします。

応用

## A 黒や白の画面による場面切替

真っ白や真っ黒な画面から映像と音声徐徐に現われるフェード/ワイブイン、徐々に消えるフェード/ワイブアウト。

### 1 スタート/ストップボタンを押す

- 撮影と同時にフェードイン/ワイブインが始まります。
- 撮影中にスタート/ストップボタンを押すことに、フェード/ワイブアウトで撮影一時停止に、フェード/ワイブインで撮影を始めます。

## B XX1 オートセレクト1

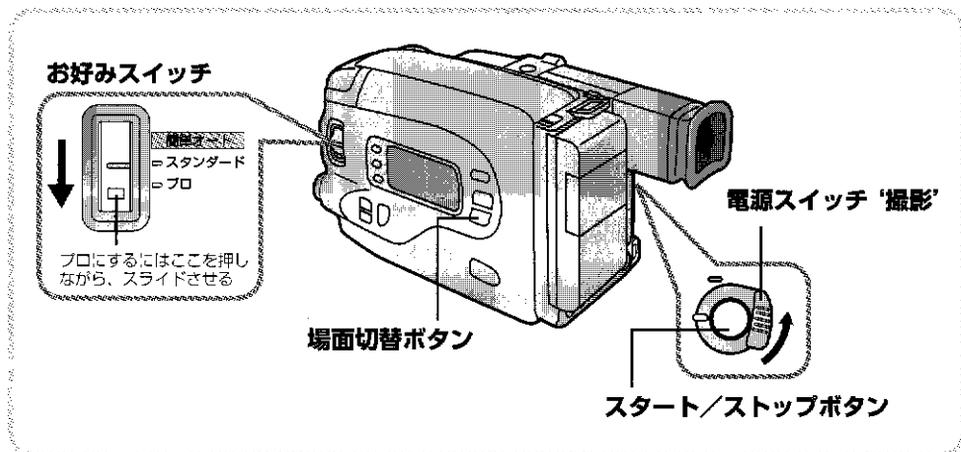
Aの黒や白の画面による場面切替を自動的に選択します。7種類のフェード/ワイブで順番に場面を切りかえていきます。

- 1ウィンドウワイブ     1ドアワイブ     1コーナーワイブ
- ↑
- 1黒フェーダー ←  1シャッターワイブ ←  1スライドワイブ ←  1スクロールワイブ

### 1 スタート/ストップボタンを押す

- 撮影スタート時と撮影一時停止時に、フェード/ワイブを上順番で切りかえていきます。

# 場面のつなぎに変化をつける (場面切替つづき)



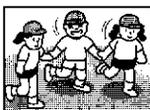
## 映像ワイフ

写真は  P スクロールワイフ の例です。  
最後の場面が下から上へ徐々にワイフインします。

最後に撮影した場面



5分以内



ワイフイン



ピクチャー  
P : Pictureの略です。

P スライドワイフ  
最後の場面が右から左へ徐々にワイフインします。

P ドアワイフ  
最後の場面から、左右にドアを開けていくようにワイフインします。

P コーナーワイフ  
最後の場面の右上から左下へ徐々にワイフインします。

P ウィンドウワイフ  
最後の場面が画面中心から徐々にワイフインします。

P オーバーラップフェーダー  
最後の場面から次の撮影の映像がだんだん浮かび上がっていくようにワイフインします。

P シャッターワイフ  
最後の場面が中央から上下にワイフインします。



## 映像ワイフができない

画像を記憶するために、映像ワイフを選んでから、1度撮影を行なってください。最後に撮影した場面を記憶し、次の撮影から場面切替をはじめます。

映像ワイフで最後に撮影した場面を記憶するときに、音声は記憶しません。

## C 映像ワイプ (Pのつく場面切替)

テレビドラマや映画のように、前のシーンから次のシーンの切りかえを映像を使って、効果的にすることが出来ます。

1 スタート/ストップボタンを押して撮影をする

2 スタート/ストップボタンを押し、撮影一時停止にする

●最後に撮影した場面を記憶します。



3 スタート/ストップボタンを押して撮影をする

● [P] で記憶している場面からワイプインし、次の場面が始まります。



電源が切れると、最後に撮影した場面を忘れてしまうので注意してください。



表示が点滅する

映像ワイプの表示が点滅するときは、画像を記憶していません。撮影をして画像を記憶してください。

## D XX2 オートセレクト2 (映像ワイプの自動選択)

Cの映像ワイプ (Pのつく場面切替) を自動的に選択します。7種類の映像ワイプで、順番に場面を切りかえていきます。

ファインダーには7種類の映像ワイプのマークを順番に表示します。

■ 2ウィンドウワイプ → □ 2コーナワイプ → ▣ 2スクロールワイプ → ▢ 2スライドワイプ

▶ 2ドアワイプ ← □ 2オーバーラップフェーダー ← ▣ 2シャッターワイプ

1 スタート/ストップボタンを押して撮影をする

2 スタート/ストップボタンを押し、撮影一時停止にする

●最後に撮影した場面を記憶します。



3 スタート/ストップボタンを押して撮影をする

● [P] で記憶している場面からワイプインし、次の場面が始まります。



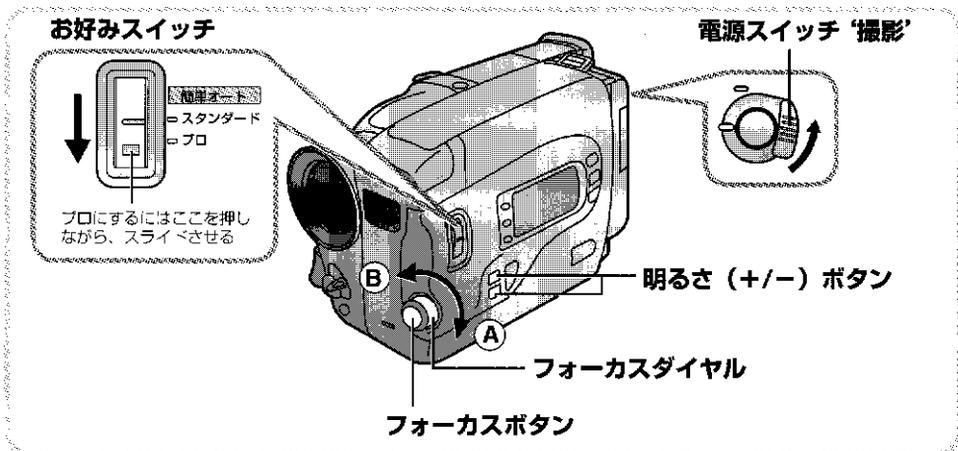
電源が切れると、最後に撮影した場面を忘れてしまうので注意してください。



表示が点滅する

映像ワイプの表示が点滅するときは、画像を記憶していません。撮影をして画像を記憶してください。

# 撮影の手動調節をする



## ピントを合わせる

ほとんどの場合、自動で約1.5cmから無限遠までピントが合いますが、合にくい場合や被写体が画面中央にないときなどは手でピントを合わせてください。

1 電源スイッチを '撮影' にし、お好みスイッチを 'スタンダード' か 'プロ' にする

2 フォーカスボタンを押す  
● 手動フォーカス表示が出ます。

3 フォーカスダイヤルでピントを合わせる

自動 (オートフォーカス) にするには

- もう一度フォーカスボタンを押すか、お好みスイッチを簡単オートにする

次の場合、ピントが合わないことがありますので手動フォーカスで撮影してください

コントラスト (明暗差) のない被写体 (平らな壁や青空)  
・ズームアップ状態で撮るとピント合わせのため自動的にズームバックします。(表示点滅)

遠方と近距離の被写体が同一内に重なっている場合



暗い場所



こまかいパターン被写体や同じパターンが規則正しく並んでいる被写体



ちらつきのある光源 (蛍光灯など) のとき

ファインダー内に下の表示が出ます

矢印側に  
回すと。

▲ ▲

▼ ▼

矢印側に  
回すと。

ピントが最遠点、最最近点になるとファインダーの ▲▲ がそれぞれ点滅します。目安としてお使いください。

## 明るさを合わせる

被写体によっては手動で合わせることをおすすめします。

**1** 電源スイッチを「撮影」にし、お好みスイッチを「スタンダード」か「プロ」にする

**2** 明るさ(+/-)ボタンの+か-のいずれかを押す

●+を押すと明るく、-を押すと暗くなります。

●表示が出ます。調節の目安にしてください。

自動にするには  
明るさ(+/-)ボタンを同時にポンと押す

●表示が消えます。



手動で明るさを合わせをした方がいい場合

- 背景が明るすぎて、被写体が暗くなる時  
(逆光のとき、スキー場や海辺で光の反射が強いとき)
- 照明が少なく画面全体が暗いとき
- スポットライトの中に入る人物を撮るときなど

## アイリスを固定する

動きのある被写体や、ズーム操作などで、画面上に写る被写体の大きさが変わっても、被写体の明るさを一定にしたいときに使うと便利です。被写体が近くにいるときにアイリスを固定しておいてください。被写体が遠くに行っても、黒くつぶれてしまわないようにすることができます。

**1** 電源スイッチを「撮影」にし、お好みスイッチを「スタンダード」か「プロ」にする

**2** 明るさを固定したい被写体を画面いっぱいに写し、明るさ(+/-)ボタンを約2秒押す

●+と-を同時に押ししてください。

●ファインダーに明るさ表示とLが表示され、アイリスは固定されます。

自動にするには  
明るさ(+/-)ボタンを同時にポンと押す

●表示が消えます。



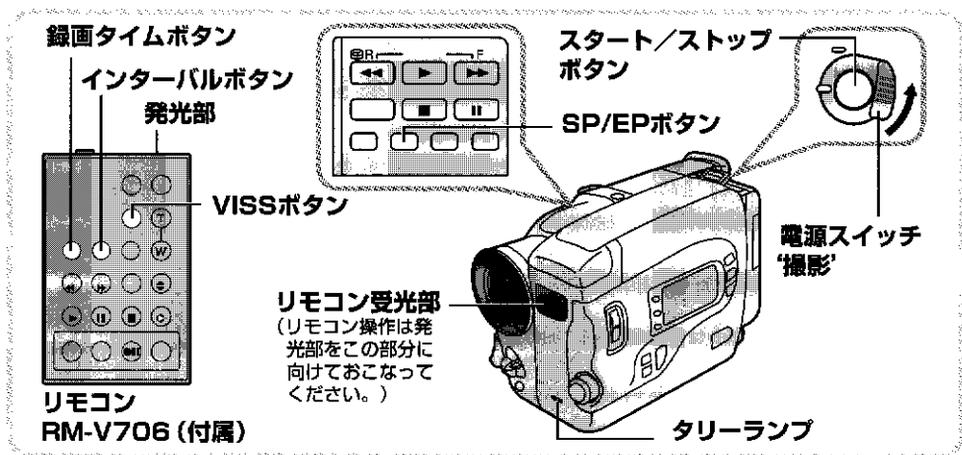
アイリスとは

人間の目は、光が強いところだとまぶしくてひとみが縮まり、光がたくさん入らないようにします。また反対に、暗いところだとひとみが広がり、光をたくさん入れようとします。それらと同じように、ムービーで電氣的に、人間のひとみと同じ動きをおこなう機能のことです。

アイリスを固定した方がいい場合

スキー場や海辺で光の反射が強いときや、スポットライトの中に入る人物を撮っているときなどで、被写体が遠ざかっていくときや、ズームを使うとき。

# 特殊撮影をする



## 頭出しを簡単にする

インデックスコード機能の付いたデッキなら再生時の頭出しが簡単にできます。

- 1 撮影中、マークしたいところ (すぐに見たいシーン) でVISSボタンを押す

●インデックス表示が消えたら書き込み終了です。



撮影の頭書きには

撮影一時停止でVISSボタンを押すこともできます。アニメ・タイムラプスでは、書き込みはできません。いくつかおこなうときは、となりのコードと多少離してください。

## セルフタイマー撮影

ムービーを固定して、撮影者も一緒に画面に入れます。

- 1 電源スイッチを '撮影' にする

- 2 リモコンのインターバルボタンを押し、撮影開始までの時間を選ぶ

●押すたびに、15S (秒) → 30S (秒) → 1MIN (分) → 5MIN (分) の順に切りかわります。



- 3 スタート/ストップボタンを押す

●タリーランプは撮影10秒前から点滅し、撮影中は点灯します。



セルフタイマーを解除する

○表示が消えるまでインターバルボタンを押す。

録画一時停止表示 "—" が点滅しているときはスタート/ストップボタンで点滅を止めおこなってください。

## アニメ撮影

人形などをアニメ撮影すると、あたかも動いているように見えます。

**1** 電源スイッチを「撮影」にし、SP/EPボタンで録画モードをSPにする



撮影中に音声が入りますが、必要に応じてアフレコしてください。

**2** リモコンの録画タイムボタンを押し、撮影時間を選ぶ

● 押すたびに、1/4 S (秒) → 1/2 S (秒) → 1 S (秒) の順に切りかわります。

アニメ撮影を解除する

時間表示が消えるまで録画タイムボタンを押してください。

**3** スタート/ストップボタンを押す

● 撮影後、アニメ撮影一時停止になります。  
● の繰り返しで撮影します。

録画モードがEPのときは、アニメ撮影はできません。

応用

## タイムラプス撮影

一定間隔で、スタート/ストップを繰り返します。花の開花などを撮るのに便利です。

**1** 電源スイッチを「撮影」にし、SP/EPボタンで録画モードをSPにする



**4** スタート/ストップボタンを押す

● と で設定した時間の撮影と、撮影一時停止を繰り返します。

**2** リモコンの録画タイムボタンを押し、撮影時間を選ぶ

● 押すたびに、1/4 S (秒) → 1/2 S (秒) → 1 S (秒) の順に切りかわります。



タイムラプスを解除する

の表示が消えるまでインターバルボタンと録画タイムボタンを押す。

録画一時停止表示 “——” が点滅しているときはスタート/ストップボタンで点滅を止めておこなってください。

タイムラプス撮影時、フェードイン/アウトはできません。

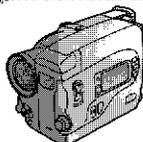
**3** リモコンのインターバルボタンを押し、撮影と撮影の間隔を選ぶ

● 押すたびに、15 S (秒) → 30 S (秒) → 1 MIN (分) → 5 MIN (分) の順に切りかわります。

録画モードがEPのときは、タイムラプス撮影はできません。

# フォトミュージックビデオを作る

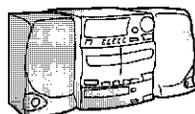
お持ちの音楽と写真を合わせたオリジナルテープを作ることができます。幼少から成人まで、成長の写真に音楽を付けて感動的に。結婚式などに使うと効果的です。



ムービー



ご家庭のビデオデッキ



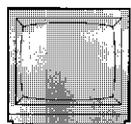
ご家庭の音響機器



編集したい音楽



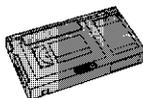
編集したい写真



ご家庭のテレビ



ACパワーアダプター (別売)



カセットアダプター (別売)



VHS-Cテープ (別売)



接続コード (付属/別売)

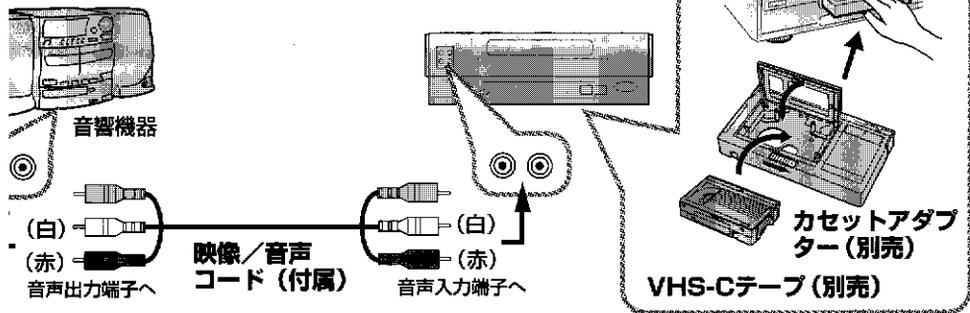
## 準備するもの

- ◆ムービー
- ◆ご家庭のビデオデッキ
- ◆ご家庭の音響機器 (コンパクトコンボなど)
- ◆編集したい音楽 (CDなど)
- ◆編集したい写真 (数枚)
- ◆ご家庭のテレビ
- ◆ACパワーアダプター (別売)
- ◆カセットアダプター (別売)
- ◆新しいVHS-Cテープ (別売)
- ◆接続コード (付属/別売)

## 音楽をテープに入れる

- 1 ご家庭のビデオデッキと、コンパクトコンボ (などの音響機器) を接続する
- 2 ビデオデッキと、コンパクトコンボの電源を入れる
  - ビデオデッキを外部入力にしてください。☞
- 3 VHS-Cテープをカセットアダプターにセットし、ビデオデッキに入れる
  - テープにツメがあることを確認してください。
- 4 コンパクトコンボを再生し、録音したい音楽のところでビデオデッキの録画を始める
  - 音楽のテープを録音することもできます。

デッキがモノラルの場合は、白プラグのみか市販の変換コード（白と赤の端子を一つにまとめるコード）で接続します。



**5** 録音をやめるには  
ビデオデッキとコンパクトコンボを停止させる

**6** VHS-Cテープを巻き戻す

次ページに続く

● '映像をテープに入れる' で、録音した音楽に合わせて、写真を撮影します。

応用



くわしく知りたい

ご家庭のビデオデッキ/コンパクトコンボ（などの音響機器）の取扱説明書もよくお読みください。

VHSビデオデッキの場合

S-VHS-C録画したテープはVHSビデオデッキでは正常に再生できません。

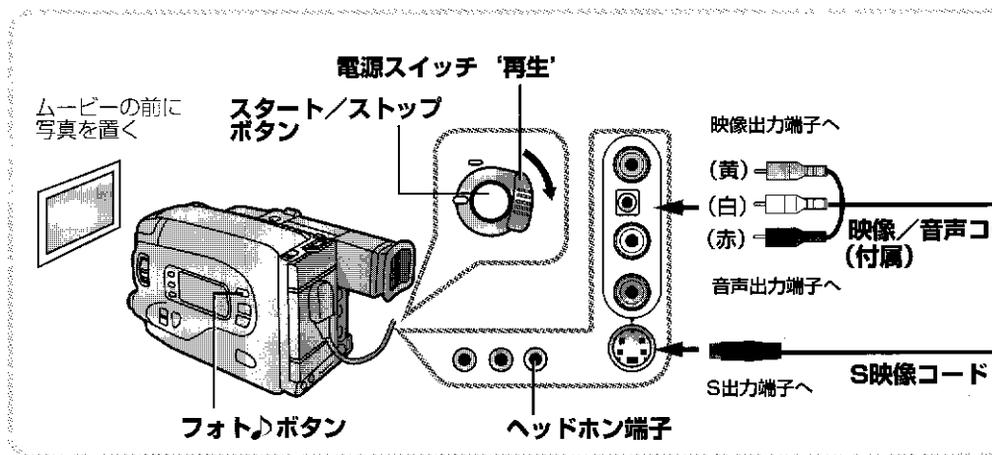
一時停止を5分以上続けると

節電のため、電源が切れます。続けるには電源を入れ直してから、おこなってください。

音響機器について

音声出力端子付の音響機器をお使いください。音声出力端子が無い場合は、ヘッドホン端子と音声入力端子をオーディオ接続コード（別売）で接続してください。

# フォトミュージックビデオを作る (つづき)



## 映像をテープに入れる

**7** ムービーとビデオデッキあるいはテレビを接続し、電源を入れる

- ムービーの電源スイッチは '再生' にしてください。
- ビデオデッキを外部入力にしてください。

**8** VHS-Cテープをカセットアダプターから出し、ムービーに入れる

**9** テープを再生し、音楽がはじまってから一時停止ボタンを押す

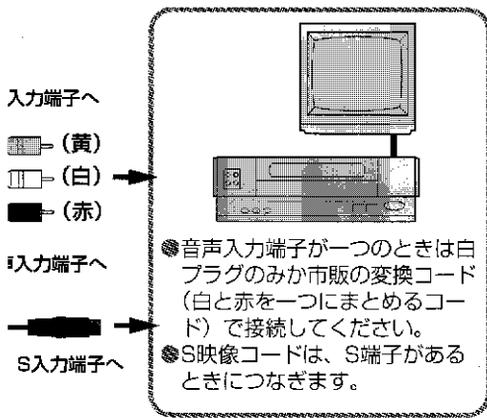
**10** 写真をムービーの前に置き、フォト♪ボタンを押す

- ムービーは撮影一時停止 (インサートの一時停止) になります。
- 写真がテレビに映ります。ズームレバーやムービー本体を動かして、画角を調節してください。
- 音声は自動的にノーマル音声に切りかわります。



### 写真を撮るとき

ズームが最広角側のとき、ピントは被写体から約1.5cmから合いますが、写真に陰ができてしまうことがあります。大きく撮影したいときは、メニュー画面で 'テレマクロ' を選んでズームを最望遠側にしてください。約4×5 (cm) の大きさのものを画面いっぱいに写すことができます。



### 音楽をテープに入れる



### 映像をテープに入れる



## 11 スタート/ストップボタンを押す

- 撮影を始めます。
- テレビを見ながら音楽に合わせて、スタート/ストップを繰り返します。
- '音楽をテープに入れる' で入れた音楽はそのまま、映像を新しく記録します。
- '音楽をテープに入れる' で入れた音楽が始まる前から映像を入れると誤動作の原因になります。必ず音楽と同時に、音楽が始まってから映像を入れてください。
- 撮影を中断するときは、スタート/ストップボタンを押してください。撮影一時停止になります。
- マイクからHiFi音声にナレーションを入れることができます。

## 12 編集を終わらせるには、停止ボタンを押す



### 映像を演出する

撮影の始めと終わりを '場面切替' で変化を付けたり、写している写真をセピアやシネマなど '演出/効果' で演出することができます。

### フォトミュージックビデオを見る

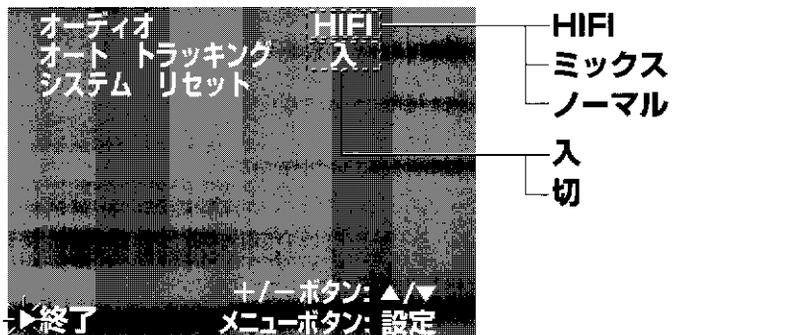
ビデオデッキの音声をノーマルまたはミックスにし、カセットアダプターに編集済みVHS-Cテープを入れて、ビデオデッキで再生してください。

音楽はノーマル音声で記録しています。ノーマルを選ぶと音楽のみ、ミックスを選ぶと音楽とで入れたナレーションを聞くことができます。

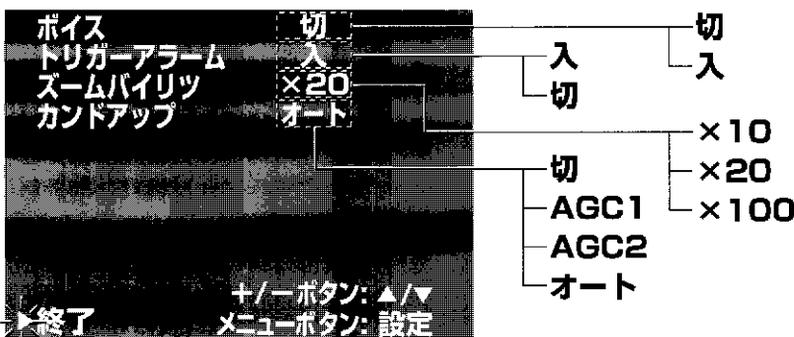
# メニューを使って機能を設定する

いろいろな機能をファインダー内のメニュー表示で設定できます。[ ]で囲っている表示は切りかわります。操作は [ ] をご覧ください。

電源スイッチ：再生、 お好みスイッチ：どの位置でもよい

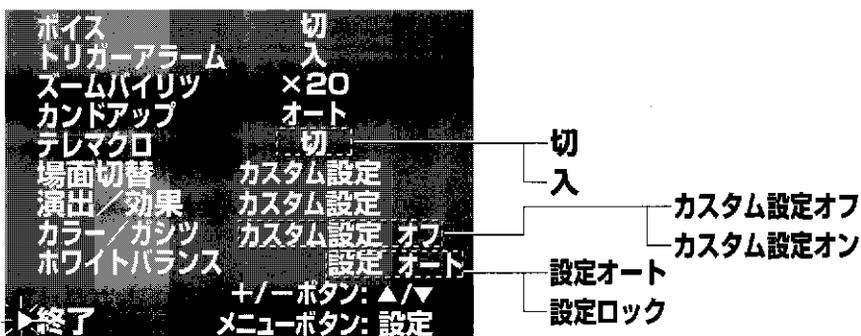


電源スイッチ：撮影、 お好みスイッチ：スタンダード



電源スイッチ：撮影、 お好みスイッチ：プロ

●ボイス、トリガーアラーム、ズームバイリツ、カンドアップも上と同じように設定できます。



リチウム電池が切れると、'ホワイトバランス'の'ワンタッチ1/2/3'以外は設定を解除します。再設定してください。

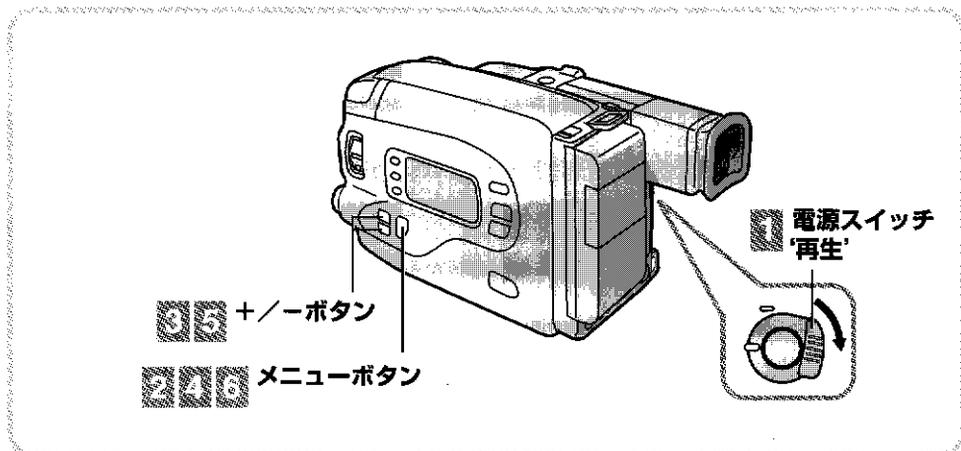
オーディオ	HIFI	ハイファイ音声が入ります。通常はこの位置で。	40
	ミックス	ハイファイ音声+ノーマル音声が入ります。	
	ノーマル	ノーマル音声が入ります。	
オートトラッキング	入	通常はこの位置で。	43
	切	オートトラッキング'入'で調節できない時は、手動調節します。	
システムリセット		いろいろな機能を設定したが、工場出荷時の状態に戻したくなったとき。 ※メニュー表示で'ホワイトバランス'のなかの'ワンタッチ1/2/3'と、日時設定は、工場出荷時の状態に戻りません。	40
ボイス	切	通常はこの位置で。	44
	入	風のある所やさわがしい所で撮りたいとき。	
トリガーアラーム	切	トリガーアラームの音を出したくないときに。	44
	入	撮影のスタート/ストップを音で知らせます。	
ズームパイリツ	×10	宮氣的に映像を処理しないで、きれいに撮影します。	44
	×20	お好みスイッチが'簡単オート'の時はこの位置です。	
	×100	デジタルズームでさらに大きく撮りたいときに。	
カンドアップ	切	暗いシーンをそのままの暗さで撮影します。	44
	AGC1	薄暗いところでも、被写体が写らなくなるないように、明るく撮ることができます。多少被写体が暗く写っても、画面のザラザラ感を少なく撮りたいときに。	
	AGC2	暗いところでも、被写体が写らなくなるないように、明るく撮ることができます。多少画面がザラザラ感のある映像になっても、被写体を明るく撮りたいときに。	
	オート	1/30~1/200秒シャッター自動可変で明るいところから暗いところまで、自動的にシャッターの速度を変えて撮影します。暗いところでの撮影では、シャッター速度が自動的に遅くなり、AGC2よりもザラザラ感のない映像で明るく撮ることができます。通常はこの位置で。	
テレマクロ	切	通常はこの位置で。	44
	入	通常では、ズーム倍率によって、ピントが合う被写体までの距離が変わります。'切'ではズームの最遠点で、1m以上離れないとピントは合いません。'入'では、約4×5 (cm)の大きさの被写体に、約50cmの距離に近づいて、画面いっぱいに写すことが出来ます。 ※ズーム中は、ピントがあわないことがあります。	
場面切替	カスタム設定	お好きな機能を選ぶときに。	44
演出/効果	カスタム設定	お好きな機能を選ぶときに。	44
カラー/ガシツ	カスタム設定オフ	通常はこの位置で。	44
	カスタム設定オン	画質を変えたときに。	
ホワイトバランス	設定オート	通常はこの位置で。	46
	設定ロック	白バランスを変えたときに。	

応用

部分：通常はこの位置でお使いください。

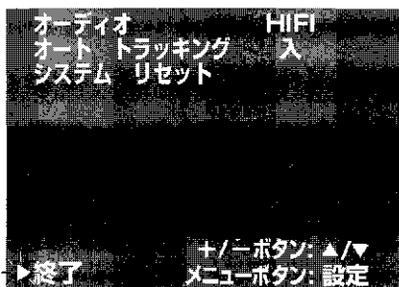
# メニューを使って機能を設定する (つづき)

(例：再生メニューでオーディオを選ぶ)



**1** 電源スイッチを '再生' にする

**2** メニューボタンを押す  
●ファインダー内にメニュー表示が出ます。



(ファインダー内)

**3** +/-ボタンで▶をオーディオに合わせる

●+を押すと上に、-を押すと下に▶が移ります。

**4** メニューボタンを押す  
●押すごとに表示が切りかわります。  
HIFI, ミックス, ノーマルのいずれかを選んでください。

**5** +/-ボタンで▶を '終了' に合わせる

**6** メニューボタンを押す  
●設定が終了します。



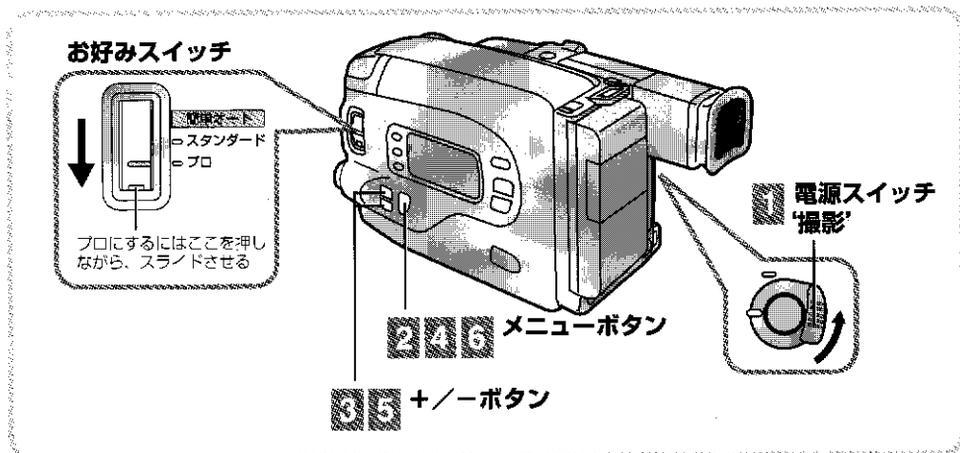
オートトラッキングを '切' にするとき

1~3と同じ手順でオートトラッキング '切' を選んだあと、スームレバーで操作してください。くわしくは:56 をご覧ください。

システムリセットをするとき

1~3と同じ手順で行うと設定できます。

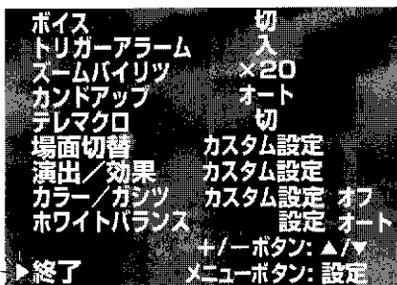
(例：撮影メニューでボイスを‘入’にする)



**1** 電源スイッチを‘撮影’にし、お好みスイッチを‘スタンダード’か‘プロ’にする

**2** メニューボタンを押す  
●ファインダー内にメニュー表示が出ます。

お好みスイッチ：プロ



(ファインダー内)

**3** +/-ボタンで▶をボイスに合わせる  
●+を押すと上に、-を押すと下に▶が移ります。

**4** メニューボタンを押す  
●押すごとに表示が切りかわります。切、入のいずれかを選んでください。

**5** +/-ボタンで▶を‘終了’に合わせる

**6** メニューボタンを押す  
●設定が終了します。



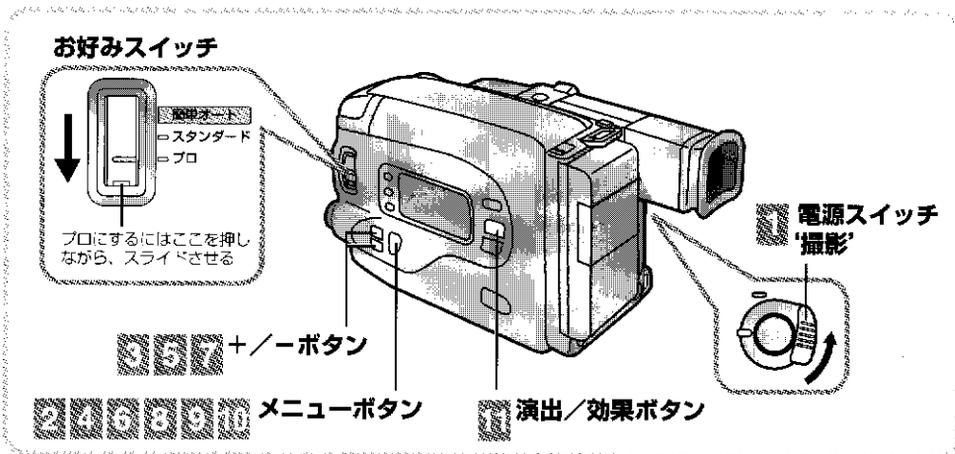
トリガーアラーム、ズームバイリツ、カンドアップ、テレマクロをするとき

①～③と同じ手順でおこないます。テレマクロはお好みスイッチ‘プロ’のみで設定できます。

応用

# 演出／効果を入れかえる

演出／効果にある機能をお好きなものに5種類まで入れかえることができます。



**1** 電源スイッチを‘撮影’にし、好みスイッチを‘プロ’にする

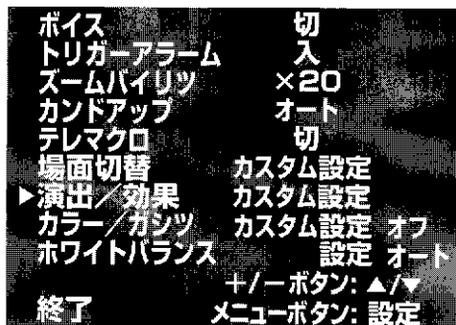
**2** メニューボタンを押す  
●ファインダー内にメニュー表示が出ます。

**3** +/-ボタンで▶を‘演出／効果’に合わせる

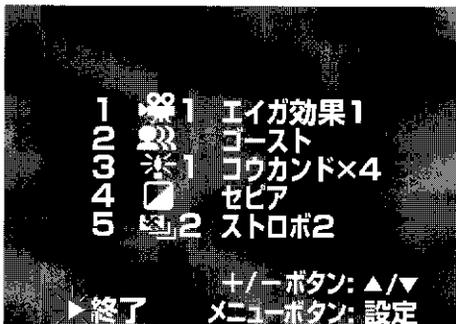
**4** メニューボタンを押す  
●ファインダー内に設定画面が表示されます。

**5** +/-ボタンで▶を入れかえたい番号に合わせる

**3** のファインダー内



**4** のファインダー内



**6** メニューボタンを押す  
●▶が点滅します。

**7** +/-ボタンを押す  
●押すごとに機能が入れかわります。

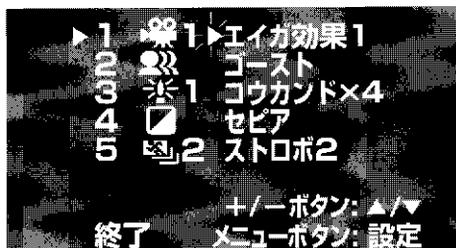
**8** 入れかえを終了したら、メニューボタンを押す  
●▶が‘終了’に移ります。  
●他の番号も同じように入れかえることができます。  
●～●を繰り返します。

**9** もう一度、メニューボタンを押す  
●ファインダー内の表示は、メニュー表示になります。

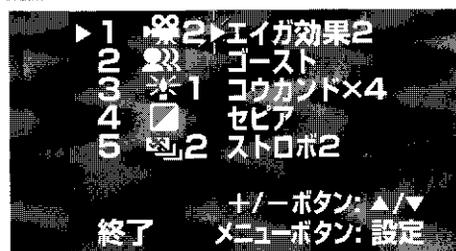
**10** さらにもう一度、メニューボタンを押す  
●撮影一時停止の画面になり、設定終了となります。

**11** 映像に変化をつけて撮影する  
●お好みスイッチは‘プロ’を選んでおこなってください。

**6** のファインダー内

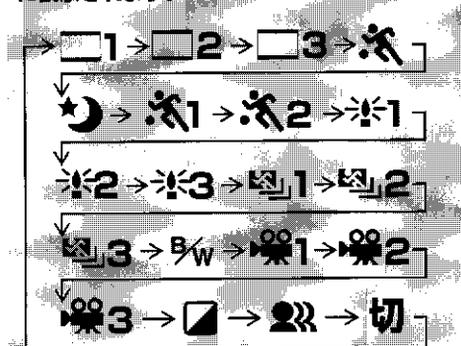


**7** のファインダー内



応用

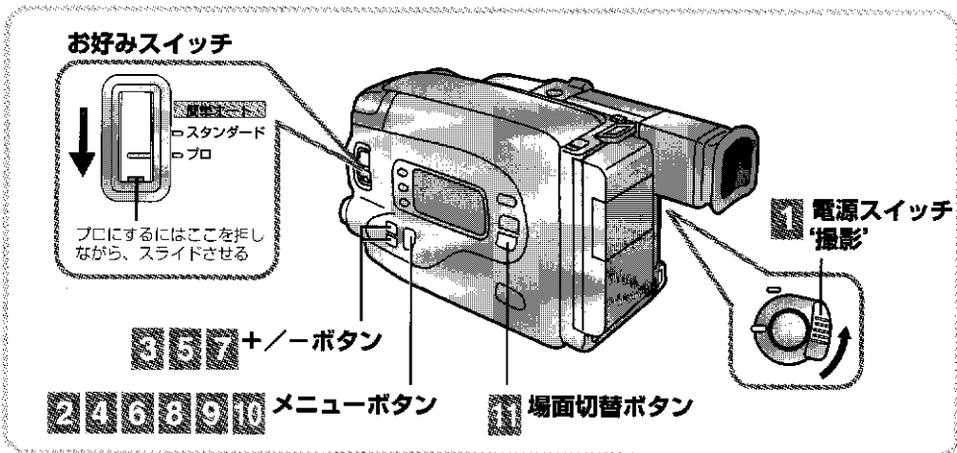
の操作で+ボタンを押すごとに、下のように表示されます。



●-ボタンを押すと逆に戻ります。

# 場面切替を入れかえる

場面切替にある機能をお好きなものに5種類まで入れかえることができます。



**1** 電源スイッチを「撮影」にし、お好みスイッチを「プロ」にする

**2** メニューボタンを押す  
●ファインダー内にメニュー表示が出ます。

**3** +/-ボタンで▶を「場面切替」に合わせる

**4** メニューボタンを押す  
●ファインダー内に設定画面が表示されます。

**5** +/-ボタンで▶を入れかえたい番号に合わせる

**3** のファインダー内

ボイス	切
トリガーアラーム	入
ズームバイリツ	×20
カンドアップ	オート
テレマクロ	切
▶場面切替	カスタム設定
演出/効果	カスタム設定
カラー/ガンツ	カスタム設定
ホワイトバランス	設定 オフ
終了	設定 オート

+/-ボタン: ▲/▼  
メニューボタン: 設定

**4** のファインダー内

1	白	白フェーダー
2	黒	黒フェーダー
3	□	ウィンドウワイブ
4	▼	シャッターワイブ
5	□	ドアワイブ

+/-ボタン: ▲/▼  
▶終了      メニューボタン: 設定

**6** メニューボタンを押す  
●▶が点滅します。

**7** +/-ボタンを押す  
●押すごとに機能が入れかわります。

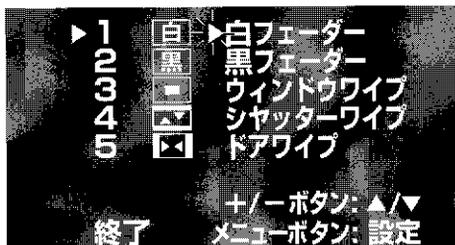
**8** 入れかえを終了したら、メニューボタンを押す  
●▶が'終了'に移ります。  
●他の番号も同じように入れかえることができます。  
●~●を繰り返します。

**9** もう一度、メニューボタンを押す  
●ファインダー内の表示は、メニュー表示になります。

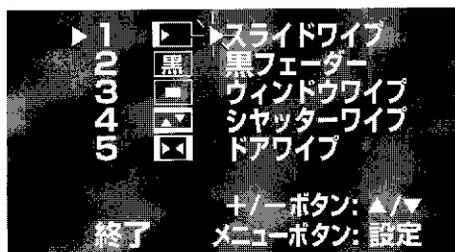
**10** さらにもう一度、メニューボタンを押す  
●撮影一時停止の画面になり、設定終了となります。

**11** 場面のつなぎに変化をつけて撮影する  
●お好みスイッチは'プロ'を選んでおこなってください。

**6** のファインダー内

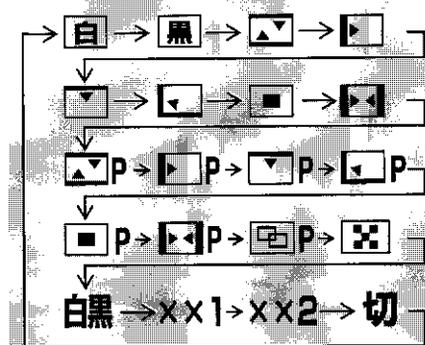


**7** のファインダー内



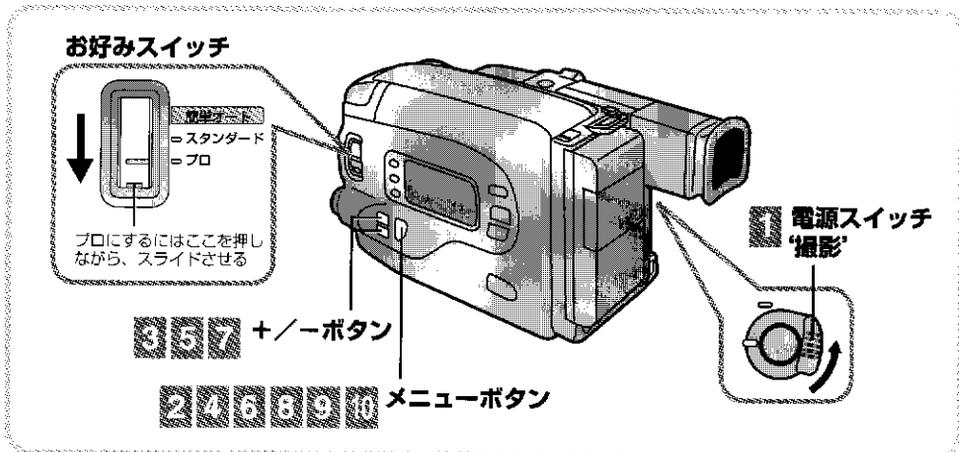
応用

の操作で+ボタンを押すごとに、下のように表示されます。



●-ボタンを押すと逆に戻ります。

# 好みの画質に合わせる



## カラー／ガッツ

映像の微妙な色合いを調節して、好みの色合いで撮影することができます。

**1** 電源スイッチを「撮影」にし、お好みスイッチを「プロ」にする

**2** メニューボタンを押す  
●ファインダー内にメニュー表示が出ます。

**3** +/- ボタンで▶を「カラー／ガッツ」に合わせる

**3** のファインダー内

ボイス	切
トリガーアラーム	入
ズームバイリツ	×20
カントアップ	オート
テレマクロ	切
場面切替	カスタム設定
演出／効果	カスタム設定
▶カラー／ガッツ	カスタム設定 オフ
ホワイトバランス	設定 オート
終了	+/- ボタン: ▲/▼ メニューボタン: 設定

カラー／ガッツの設定が効かない  
演出／効果の白黒「セピア」シネマ2,3映画効果2,3を使用しているとき設定は効きません。

「カラー／ガッツ」をセットするとき  
カラーテレビに接続して色合いを確認することをおすすめします。

- 4** メニューボタンを押す  
 ●ファインダー内に設定画面が表示されます。

- 5** + / - ボタンで▶を変えたい項目に合わせる  
 ●色アイ (色合い)、色ノコサ (色の濃さ)、ガシツ (画質) のいずれかを選びます。

- 6** メニューボタンを押す  
 ●▲が点滅します。

- 7** + / - ボタンで好みに合わせる  
 ●▲を左右に動かします。  
 ●+ ボタンを押すと右に、- ボタンを押すと左に動きます。

- 8** お好みの位置にしたら、メニューボタンを押す  
 ●▶が '終了' に移ります。  
 ●他にも合わせたいときがあるときは [ ] ~ [ ] を繰り返します。

- 9** もう一度、メニューボタンを押す  
 ●ファインダー内の表示は、メニュー表示になります。  
 ●メニュー表示は、カスタム設定オンになります。

- 10** さらにもう一度、メニューボタンを押す  
 ●撮影一時停止の画面になり、設定終了となります。

**4** のファインダー内



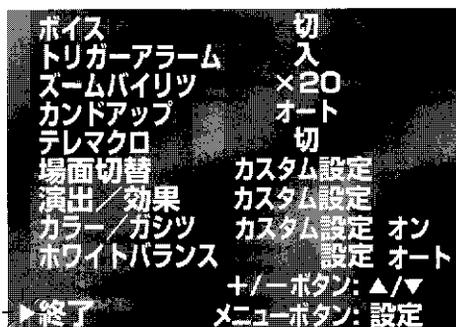
(カスタム設定オフの画面です。)

**7** のファインダー内

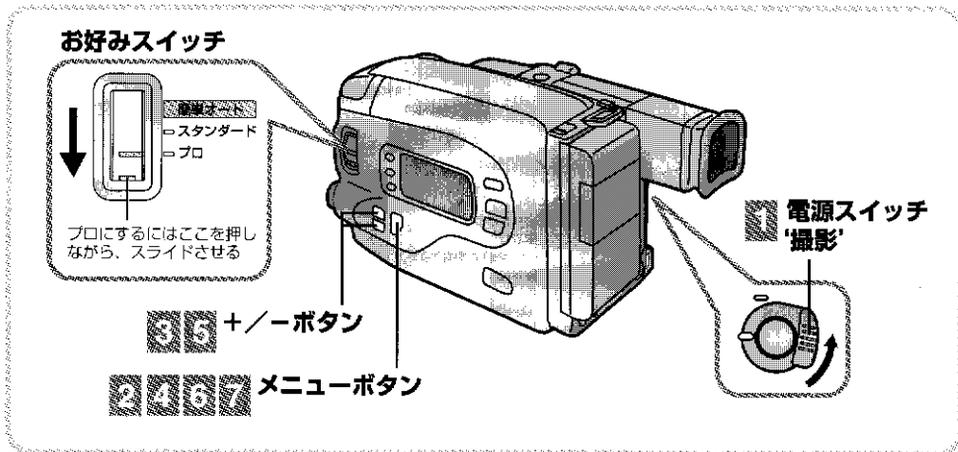


応用

**9** のファインダー内



# 好みの画質に合わせる (つづき)



## ホワイトバランス

**1** 電源スイッチを「撮影」にし、お好みスイッチを「プロ」にする

**2** メニューボタンを押す  
●ファインダー内にメニュー表示が出ます。

**3** +/- ボタンで▶を「ホワイトバランス」に合わせる

**3** のファインダー内

ボイス	切
トリガーアラーム	入
ズームバイリツ	×20
カントアップ	オート
テレマクロ	切
場面切替	カスタム設定
演出/効果	カスタム設定
カラー/ガシツ	カスタム設定
▶ホワイトバランス	設定 オフ
	設定 オート
	+/- ボタン: ▲/▼
	メニューボタン: 設定
終了	

ホワイトバランスの設定が効かない

演出/効果の「白黒」「セピア」「シネマ2.3」「映画効果2.3」を使用しているとき設定は効きません。



「ホワイトバランス」をセットするとき

カラーテレビに接続して色合いを確認することをおすすめします。

ホワイトバランスとは

人間の目で見ると同じ色でもビデオカメラで撮ると、照明が白ウソクのとときや蛍光灯のとときとは違った色になります。それを自然な色合いに映るようにする機能です。

#### 4 メニューボタンを押す

●ファインダー内に設定画面が表示されます。

#### 5 + / - ボタンで▶を変えたい項目に合わせる

ワンタッチ1/2/3	記憶したオリジナルのホワイトバランスで撮影するとき
ハレ	晴れた日に屋外で撮影するとき
クモリ	くもり日や日陰で撮影するとき
ハロゲン	ビデオライトなどで照明するとき

#### 6 メニューボタンを押す

●ファインダー内の表示はメニュー表示になります。  
●メニュー表示は設定ロックになります。

#### 7 もう一度、メニューボタンを押す

●撮影一時停止の画面になり、設定終了となります。



#### 色紙でホワイトバランスを合わせる

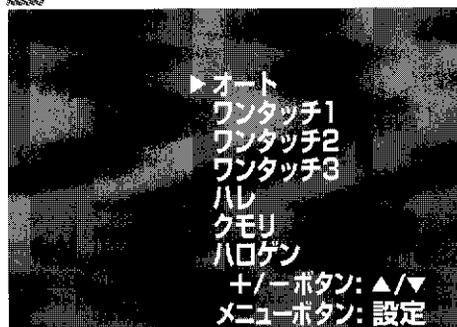
ワンタッチの2で、被写体の前に色紙を置いてホワイトバランスを合わせると、色紙の色を基準に色合いを合わせるので、少し変わった色で撮影を楽しめます。

例えば、赤い紙で合わせた場合 → 緑色、  
青い紙で合わせた場合 → オレンジ色、  
黄色い紙で合わせた場合 → 紫色よりに写ります。

#### ワンタッチでホワイトバランスを合わせると

電源（バッテリー、リチウム電池、ACアダプター）をはずしても再生メニューの「システムリセット」をしても、設定した色合いを記憶しています。

#### 4 のファインダー内



(設定オートの画面です。)

#### ワンタッチ1 / 2 / 3を設定する

ワンタッチは、いろいろな光が混じっている被写体を撮影するときにお使いください。3つまでオリジナルのホワイトバランスが記憶できます。

応用

#### 1 手順の1～3をおこなう

●1でワンタッチ1～3のいずれかを選んでください。

#### 2 被写体の前に白い紙を置き、画面いっぱい白を写す

#### 3 メニューボタンを押し、「ワンタッチ」が点滅したら手を離す

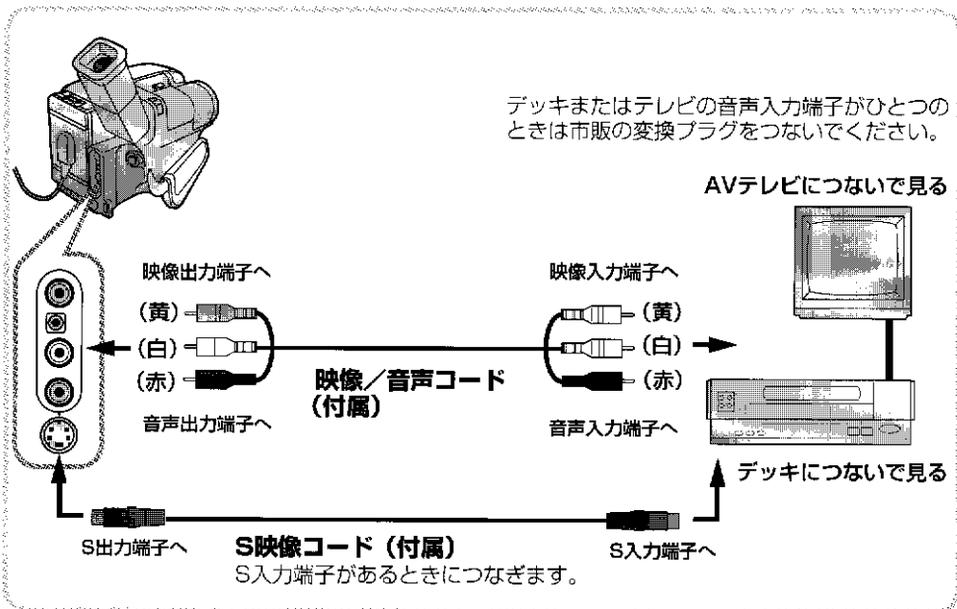
●ファインダー内の表示はメニュー表示になります。  
●メニュー表示は設定ロックになります。

#### 4 もう一度、メニューボタンを押す

●撮影一時停止の画面になり、設定終了となります。

# デッキ・テレビとの接続

再生や編集の他、ムービーをカメラとして使うときの接続のしかたです。ご家庭のテレビやデッキの説明書もお読みください。



## デッキにつなぐ

1 ムービーとデッキをつなぐ

- 2
- 1 ムービー、デッキ、テレビの電源を入れる
  - 2 テレビはいつもビデオを見ているチャンネルにする

3 デッキの入力を外部入力にする

デッキにS映像コードをつないだか映像が出ない

デッキのS端子と映像端子からの入力を切りかえるスイッチ (S/AV切替スイッチ、映像切替スイッチ、S映像入力スイッチなど) を操作してみてください。

50

## 映像/音声入力付テレビにつなぐ

1 ムービーとテレビをつなぐ

2 ムービーとテレビの電源を入れる

3 テレビの入力をムービーからつないだ端子に切りかえる  
(例、ビデオ1、ビデオ2、ムービーなど)

映像/音声入力端子のないテレビで見するには別売のRFユニットRF-V5が必要です。音声はモノラルになります。DC出力端子はRFユニットの電源供給用端子です。

ムービーの電源は

バッテリーよりもACパワーアダプターを使うことをおすすめします。



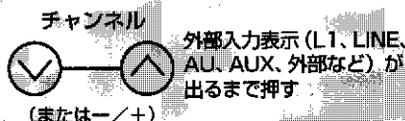
### 外部入力するには

デッキによって違いますのでデッキの取扱説明書と下の例を見ながらおこなってください。  
 ・ムービーからの映像と音声が出たら終了です。

#### 例1 スライドスイッチで切りかえるタイプ



#### 例2 チャンネルボタンで切りかえるタイプ



#### 例3 入力切りかえボタンのタイプ

入力切替



ボタンを押して外部入力表示 (ビデオ1、ビデオ2、ムービーなど) を選ぶ

ムービーをカメラとして、デッキで録画するには

ムービーをカメラリハーサル状態にし、デッキに録画するテープを入れてデッキ側で録画/一時停止の操作を行ないます。このとき、日時表示はオンスクリーンモード以外のものにしてください。

(デッキがピクチャーのリモートポーズ端子付きのときは、編集コードをデッキとムービーの編集端子につなぎムービーのスタート/ストップボタンで操作します。)

・ムービーのテープは取り出してください。

#### オンスクリーンモードとは

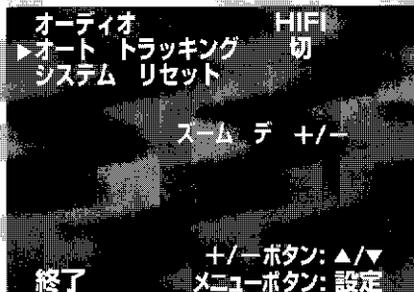
テレビとムービーをつなぎカメラリハーサル状態でオンスクリーンを選ぶと、ファインダー内の文字をテレビに出すことができます。



### 再生画面にノイズが出たら

このムービーはオートトラッキング機能付きです。合いにくい場合は手動調節をします。

- 1 再生中に、メニューボタンを押す
- 2 +/ーボタンで▶を'オートトラッキング'に合わせる
- 3 メニューボタンで▶を'切'に合わせる  
ファインダーに'ズーム デ +/ー'が表示されます。



- 4 +/ーボタンで▶を'終了'に合わせる
- 5 メニューボタンを押す
- 6 ズームレバーTまたはWで画面と音声がよくなるよう調節します。  
電子音が'ピッ'と鳴ります。

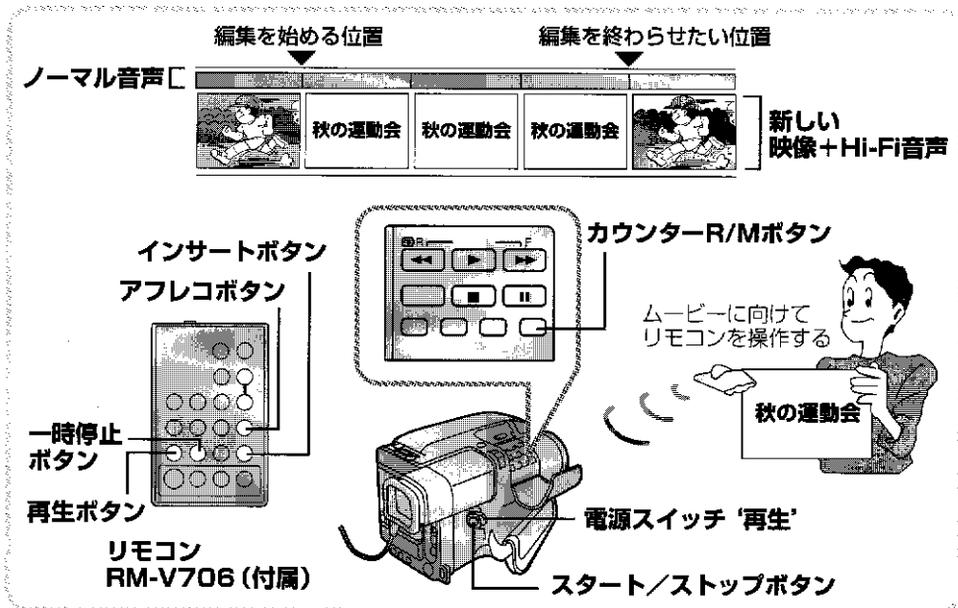
オートトラッキングに戻すには

- ・再生中、オートトラッキングを'入'にする
  - ・テープを取り出す
- のいずれかで次の再生はオートトラッキングになります。
- ・他のビデオで録画されたテープは十分に調節できないことがあります。

#### カメラリハーサル状態とは

テープを入れなくて、電源スイッチを'撮影側'にするとカメラの映像を見ることができます。テレビがムービーからの入力に切りかわったとき映像と音声が出てすぐわかります。

# 編集をする (ダビング)



## インサート編集/アフレコ編集

インサート：録画済みテープの映像とHi-Fi音声を新しいものに入れかえることができます。  
アフレコ：録画済みテープにノーマル音声のみを、新しいものに入れかえることができます。

- 1 テープを再生し終わり点で一時停止ボタンを押す
- 2 カウンターR/Mボタンを約1秒押す  
●カウンターが0:00:00になります。
- 3 もう一度、カウンターR/Mボタンをポンと押す  
●カウンターがM0:00:00になります。
- 4 編集を始める位置の少し前に戻し、再生する
- 5 編集を始める位置で一時停止ボタンを押す  
●静止画になります。



### 電源が切れた

一時停止状態では約5分間で電源が切れます。再度電源を入れてセットしてください。

### テレビと接続したとき

テレビが「ピー」「ウーン」というノイズ音を出すときは、マイクをテレビから離すか、テレビの音量をさげてください。

## インサート編集する場合

### 6 リモコンのインサートボタンを押したまま一時停止ボタンを押す

- ファインダー内に「≡ストップ≡」と「O」が出ます。
- 同時にノーマル音声もインサートするには続けてアフレコボタンを押したまま一時停止ボタンを押す。



(ファインダー内)

### 7 スタート/ストップボタンを押してインサートしたい映像/音声を撮る

- 編集が始まります。
- 一時止めるにはスタート/ストップボタンを押します。
- 終わり点になると自動的に再生状態になります。

編集点でズレることがありますが故障ではありません。

#### インサート編集/アフレコ編集の音声について

- ・編集中はマイクまたは接続した外部マイク(別売)の音が聞こえます。
- ・再生時の音声は、あらかじめメニューの「オーディオ」で聞きたいものを選んでください。

#### インサートの録画モードは

ムービーの録画モードがSP/EPの設定に関係なく、テープに録画されていた録画モードで編集されます。

## アフレコ編集する場合

### 6 リモコンのアフレコボタンを押したまま一時停止ボタンを押す

- ファインダー内に「●||」が出ます。



(ファインダー内)

### 7 再生ボタンを押し、マイクに向かってナレーションなどを記録する

- 編集が始まります。
- 一時止めるには一時停止ボタンを押します。
- 終わり点になると自動的に再生状態になります。



#### 編集がきれいにできない

編集の始めや途中に無記録部分があるときや、途中で録画モード(SP/EP)が変わっていると、誤動作の原因になります。

#### 音声について

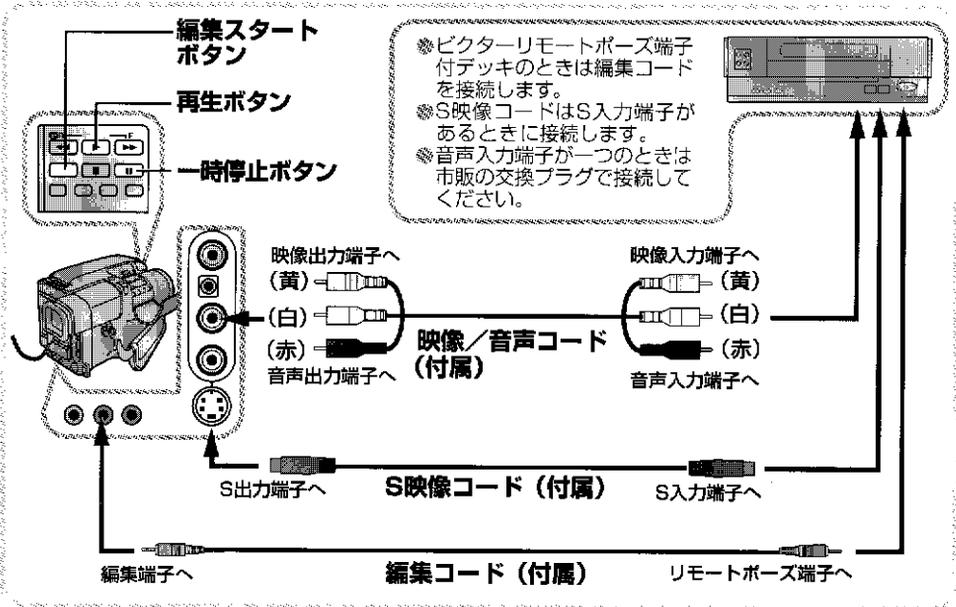
音声はメニュー表示のオーディオで、聞きたいものを選んでください。

- ・HIFI →アフレコ編集する前の音声/インサート編集した音声
- ・ミックス→アフレコ編集する前の音声+アフレコ編集した音声/インサート編集する前の音声+インサート編集した音声
- ・ノーマル→アフレコ編集した音声/インサート編集する前の音声

#### インサート編集を簡単にする

インサート編集の $\square$ のあと、フォト♪ボタンを押してください。メニューで音声の切り替えをしなくても、音声はノーマル音声を選択します。インサート編集が終了すると、音声は自動的にもとの音声に戻ります。

# 編集する (ダビングつづき)



## 自動編集以外のダビング

リモコンを使わないで、もう一本同じテープを作ったり、好きな場面だけ集めてオリジナルテープを作ることができます。くわしくは、デッキの取扱説明書もお読みください。

**1** ムービーとデッキを接続し、電源を入れる

●デッキを外部入力にしてください。

**2** ムービーを再生する

**3** ダビングしたいところでデッキの録画をスタートさせる

**4** ダビング中カットしたいところはデッキを録画一時停止にする

**5** 編集を終えるには停止ボタンを押す



ビクターのリモートボース端子付デッキの場合

- 1 ムービーを再生し、編集を終わらせたいところでカウンターをMO:00:00にする
- 2 デッキを録画一時停止にする
- 3 編集を始めたいところで、ムービーの編集スタートボタンを押す  
・デッキの録画が始まります。
- 4 カウンターMO:00:00になると、ムービーは一時停止に、デッキは録画一時停止になります
- 5 一時止めるには、ムービーの一時停止ボタンを押す  
・ムービーは一時停止に、デッキは録画一時停止になります。  
・編集スタートボタンを押すと、編集が再開します。  
・編集を終えるには●をおこなってください。



設定ボタン

リモコン  
RM-V706 (付属)

ビデオボタン

リモコンでビデオデッキ操作もできます。  
(再生/早送り/巻戻し/一時停止/停止  
ボタン) メーカー設定ができればこのボタ  
ンを押しながらデッキに向けて操作したい  
ボタン類を押します。

## メーカー設定をする

自動編集をするときや、付属のリモコンでデッキ操作するときはあらかじめリモコンにデッキのメーカー設定をしてください。

●信号の種類は複数あります。

Aを設定→動作確認

デッキが動作しないときは

Bを設定→動作確認

の順でデッキが動作するメーカー設定を  
してください。

●デッキの電源は切って始めてください。

**1** リモコンをデッキに向け  
設定ボタンを押しつづけ

**2** 希望メーカーのメーカー  
設定ボタンをa、bの順に  
押す

**3** 設定ボタンを離します

●デッキの電源が入ったら終わり  
です。動作確認をおこなって  
ください。

●リチウム電池が消耗したり、電  
池交換したときは、再度メー  
カー設定してください。

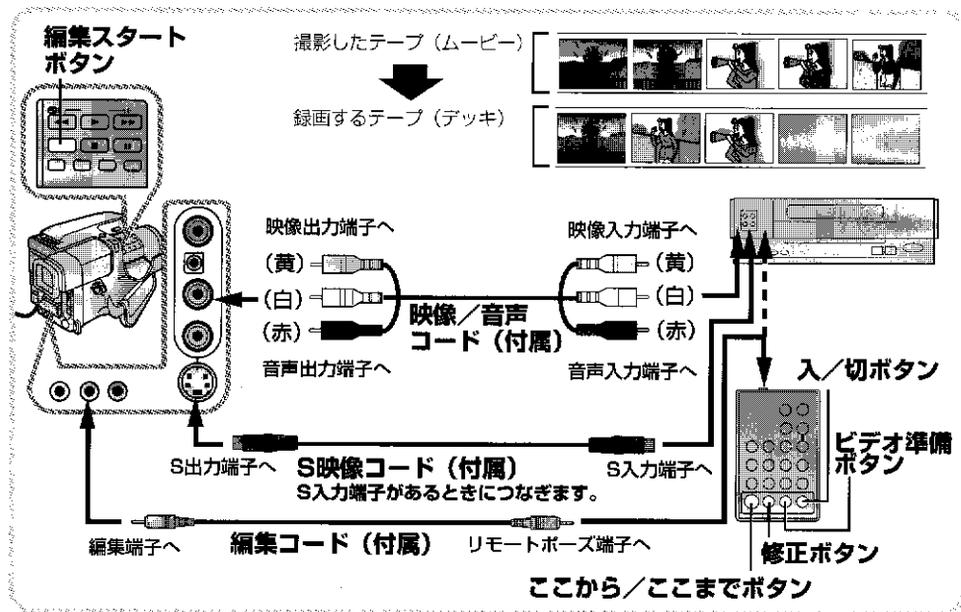
メーカー設定表

メーカー名	メーカー設定ボタン		メーカー名	メーカー設定ボタン	
	a	b		a	b
ビクター	A	ビデオ準備 巻戻し	ソニー	D	ビデオ 巻戻し
	B	ビデオ準備 停止		A	停止 ビデオ準備
	C	ビデオ準備 ビデオ	東芝	B	停止 巻戻し
アカイ	A	停止 早送り	NEC	A	ビデオ 画面/記録
	B	停止 再生		B	ビデオ 修正
	C	画面/記録 画面/記録	日立	A	停止 停止
サンヨー	A	ビデオ 停止	フナイ	B	停止 ビデオ
	B	ビデオ 一時停止		A	画面/記録 ビデオ
	C	ビデオ 入/切	松下	A	巻戻し ビデオ
	D	画面/記録 ビデオ準備		B	巻戻し 画面/記録
シャープ	A	巻戻し 一時停止	C	巻戻し 巻戻し	
	B	巻戻し 入/切		D	ビデオ準備 再生
ソニー	A	停止 一時停止	E	巻戻し 修正	
	B	停止 入/切		三菱	A
	C	ビデオ ビデオ準備	B		停止 修正

その他

一部、設定できないデッキや、特定のボタンだけ操作  
できないデッキもあります。ご了承ください。

# 編集する (ダビングつづき)



## 自動編集

撮影したテープを見ながらリモコンの「ここから / ここまで」ボタンを押し、ダビングしたいところを選びます。(1回の予約で8つの登録ができます。)

ダビングするところを選ぶ

**1** ムービーの電源スイッチを再生にしリモコンの入/切ボタンをムービーに向けて押す

**2** ムービーを再生し、画面を見ながらここから/ここまでボタンをムービーに向けて押す

●ファインダー内に、ここから点のカウンター値が出ます。

- ・ここまで点のカウンター値は、ここから点より大きい値でのみ設定できます。
- ・ここまで点と次のここから点までの早送り時間がデッキの一時停止保持可能な時間をこえる場合は編集できません。入/切ボタンで切にすると登録した内容が消えます。

### 3 場面の終わりで ここから／ここまでボタンをムービーに向けて押す

- ここまで点のカウンター値がでます。
- との繰り返しで8つまで登録できます。

### 4 入れたい場面の付近まで巻き戻しムービーを一時停止にする

### 3 のファインダー内

	ココカラ	ココまで
1	0:00:25	0:01:05
2	0:03:18	0:03:31
3	0:02:33	0:02:53
▶4	0:04:11	
5		
6		
7		
8		
	カウンター	0:04:11
	合計	0:01:13

#### ダビングを始める

### 5 編集コードをリモコンに差し込む

### 6 リモコンをデッキのリモコン受光部に向けて置き、ビデオ準備ボタンを押す

- デッキが録画一時停止になることを確認してください。しないときは、デッキを直接操作して録画一時停止にしてください。
- リモコンは動作する所に置いてください。

### 7 ムービーの編集スタートボタンを押す

- 登録順に編集が始まり最後まで自動的にダビングします。
- ダビングが終わるとムービーは一時停止、デッキは録画一時停止になります。
- ここまで点をきめなければテープの最後まで自動的にダビングします。

終わったらムービーとデッキを停止させる



・ダビング中はリモコンをデッキの受光部に向けて置いてください。さまたげる物があるとダビングできません。

・ムービーのリモート端子に別売のリモコンを差していると編集できません。ダビング中、ムービーを操作するとデッキは録画一時停止になります。



#### 場面を早く探すには

早送り／巻戻しボタンで探し、一時停止ボタンで止めます。

#### 登録を修正するには

修正ボタンを押すごとに最後に登録したものが消えます。

デッキがビクターのリモートボース端子付きの場合は

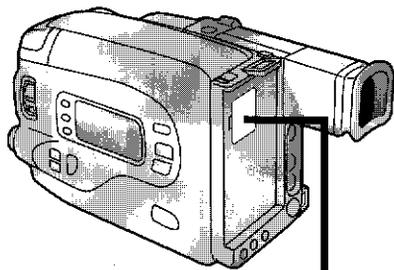
のコードをデッキのリモートボース端子に差します。

#### リモコンでのデッキ操作は

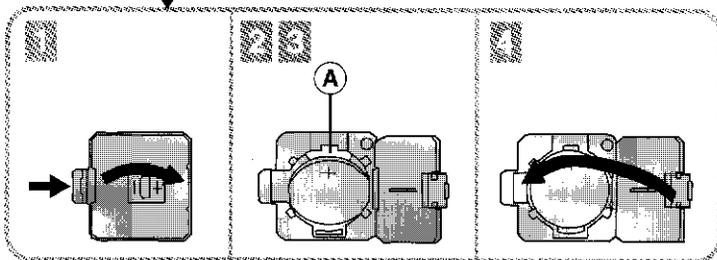
ビデオボタンを押しながら操作したいボタン類をデッキに向けて押します。

# リチウム電池を入れかえる

日付、時刻、アラーム、誕生日または旅行などの出発日の記憶を保つために必要です。お買い上げ時はすでに取り付けられています。ムービーの電源を入れたとき、ファインダー内の  表示が点滅したら交換してください。



取り付け部



**1** フタを矢印方向に押しながら開ける

**2** 古いリチウム電池を取りはずす

●取りづらい時は、先の細い金属以外のもの（プラスチックなど）を **A**（上部の穴）に差し込んで取り出してください。

**3** 新しいリチウム電池を **+** 側が見えるように入れる

**4** フタを閉める

●交換後は日時を合わせ直すことをおすすめします。Ⓔ

電池は幼児の手の届かない所においてください。  
万一、飲み込んだ場合は直ちに医師と相談してください。

電池を交換する時期は

- ・リチウム電池の寿命は約1年です。お買い上げ時に取り付けられているのはサービス電池ですので、1年もたないことがあります。
- ・電池の容量がなくなると、電源を入れたときファインダー内に  が点滅します。

電池を交換するときは

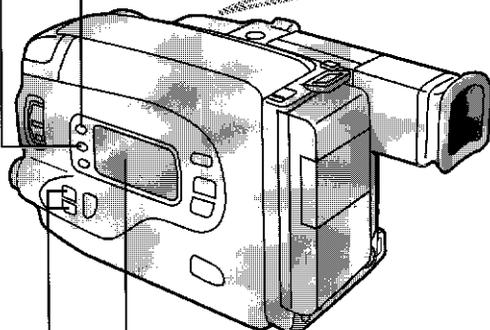
- ・CR2025リチウム電池を最寄りの電気店（またはカメラ店）でお求めください。
  - ・交換後は日時合わせをやり直してください。
- 必ずお読みください。の「リチウム電池の注意」も良くお読みください。Ⓔ

# 日時を合わせる

撮影時の日時をテープに記録したいとくのために、日付、時刻、誕生日または旅行などの出発日を合わせます。電源スイッチが「切」でも日時を合わせることができます。

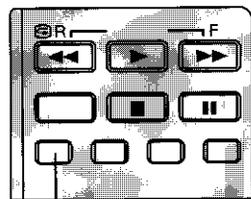
アラームボタン

日時設定ボタン



表示窓 (LCDパネル)

+/-ボタン



照明ボタン

(電源スイッチが「撮影」「再生」のとき、表示窓の点灯/消灯ができます。)

日時設定ボタンをピッ!と鳴るまで押してから、日時設定ボタンを押すごとに表示窓 (LCDパネル) の表示が次のようになります。

すでに日時が合っている場合 (工場出荷時はすでに日時を合わせてあります。)



リチウム電池交換後、日時を設定する場合



- ・ファインダー内でも設定できます。
- ・リチウム電池の交換は左ページをご覧ください。

その他

# 日時を合わせる (つづき)

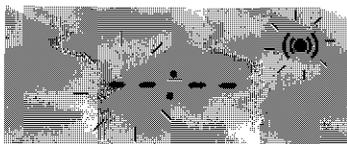
## アラーム時間を合わせる

目覚まし時計のように、希望する時間に約1分間ビビビと鳴らすことができます。

(例) 午後5時30分に合わせるとき

**1** ピッ！と鳴るまで、日時設定ボタンを押す

●表示窓に(●)が表示されます。



**2** + / - ボタンで時を合わせる

**3** 日時設定ボタンを押して点滅を移動させ + / - ボタンで分を合わせる



**4** 日時設定ボタンを押す

●ピッ！と鳴り、設定前の表示に戻ります。

●表示窓の(●)表示が消えます。

**5** アラームを鳴らすときはアラームボタンを押す

●表示窓に(●)が表示されます。

●設定した時間にアラームが鳴ります。

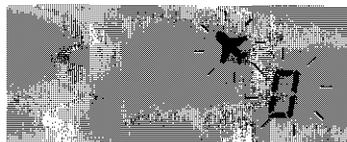
●バッテリーの容量が不足するとアラームは鳴りません。

## 時差を合わせる

海外でムービーをお使いになるときに設定してください。

(例) 午後5時30分に、時差を-8時間に合わせるとき

**1** ピッ！と鳴るまで、日時設定ボタンを押してから、表示窓に ✖ 表示が出るまで日時設定ボタンを押す



**2** + / - で合わせる

●-23~+23まで設定できます。

**3** 日時設定ボタンを押す

●ピッ！と鳴り、約3秒間の確認モードを表示した後、設定前の表示に戻ります。

●時差を引いた(または足した)時刻を表示します。

●帰国したときなど、時差が無くなったら、時差設定を0に戻してください。



アラームをやめるとき

●鳴っているアラームを止めるときは、アラームボタンを押してください。ただし、このとき(●)表示は消えません。

●設定した時間に、アラームを鳴らしたくないときは、アラームボタンを押して(●)表示を消してください。

## 日時を再設定する

リチウム電池を入れかえたら、再設定してください。

(例) 日付・時刻のみ合わせるとき

- 1 ピッ!と鳴るまで、日時設定ボタンを押してから、年月日の年が点滅するまで、設定ボタンを押す



- 2 + / - ボタンで合わせ日時設定ボタンを押す

●年→月→日→時→分の順に合わせます。



●年は西暦下2ケタの数字を合わせます。

(例) 1995→95

●AM12:00は午前0時、PM12:00は正午を表します。

- 3 ピッ!と鳴るまで、日時設定ボタンを押す

- 約3秒間の確認モードを表示した後、設定前の表示に戻ります。
- リチウム電池を交換したときは日付表示になります。

## 生年月日/出発日を合わせる

年齢やトラベルデートをテープに記録することができます。

(例) 1992年12月10日に合わせるとき

- 1 ピッ!と鳴るまで、日時設定ボタンを押してから、表示窓に ☺ 表示が出るまで日時設定ボタンを押す



- 2 + / - ボタンで年を合わせ、日時設定ボタンで点滅部を移動させる

●年→月→日の順に合わせます。



- 3 ピッ!と鳴るまで、日時設定ボタンを押す

●約3秒間の確認モードを表示した後、設定前の表示に戻ります。



年齢表示は

1ヵ月未満→1日~31日目(トラベルデート併用)  
1ヵ月以上、1才未満→1ヵ月~11ヵ月  
1才以上、7才未満→1才0ヵ月~6才11ヵ月  
7才以上、99才まで→7才~99才を表示します

トラベルデートとは

撮影が旅行などの何日目かがわかります。生年月日のところに出発日を合わせます。

その他

# こんなときは

以下の処置をしても改善されない場合は、ビクターサービス窓口にご相談ください。

症 状	処 置	参 照 ページ
電源が入らない	●電源ユニットは正しく接続されていますか。 ●バッテリーは充電されていますか。	8 9
撮影ができない	●ツメなしテープで撮影していませんか。 ●電源スイッチが「再生」になっていませんか。 ■電源スイッチを「撮影」に合わせてからスタート/ストップボタンを押してください。	10 14
画像が出ない	■電源をもう一度入れなおしてください。 ●レンズカバーが閉じていませんか。	14
いろいろな機能が使えない	●お好みスイッチが「簡単オート」になっていませんか。 ■お好みスイッチを「簡単オート」以外の位置にしてください。	24 49
自動でピントが合わない	●フォーカスが「手動」になっていませんか。 ●暗い所や明暗差のないものを撮影しませんでしたか。 ●ファインダーの視度調節を合わせましたか。 ●レンズにゴミや水滴などが付いていませんか。	30 12 68
ファインダー内の映像の色が赤っぽい	■寒い所ではファインダーの特性で赤っぽくみえます。録画される色が多少異なりますが故障ではありません。	—
再生、巻戻し、早送りができない	●電源スイッチが「撮影」になっていませんか。 ●テープが早送り、巻戻しを完了していませんか。	22
早送り、巻戻し中、テープが止まる	●カウンターメモリーされていませんか。	23
画面にノイズがでる	■トラッキング調節をしてください。 ■ビデオヘッドが汚れ、または摩耗しています。クリーニングカセット(TCC-2)で清掃してください。	51 68
テープは回っているが再生しない	●AV端子付きテレビの場合は、テレビのチャンネルを「ビデオ」にしてください。 (テレビのチャンネルがビデオ専用チャンネル1か2になっていませんか。)	50
ファインダー内に見えないマークが出た	■ファインダー表示の一覧をご覧ください。	74
被写体に強い光が入ると縦に白い線が出る	●大きなコントラストのちがいによる現象で、故障ではありません。	—
画面がチラつく	●演出/効果のスポーツを水銀灯などの光源の場所(体育館やナイターのスポーツ場)で使用すると、画面がチラつくようなことがあります。	25

症 状	処 置	参 照 ページ
画面に複数の白い点が出る	●ムービーが暖まった状態で演出/効果のカウンダ1,2,3を使用すると、白い点が出ることがありますが故障ではありません。 ■しばらくムービーの電源を切ってからお使いください。	25
画面が真っ白になった	●明るいところでカウンダ※3を使っていませんか。 ■演出/効果メニューで‘切’を選んでください。	25 24
デジタルズームが効かない	●メニュー表示で、ズームパイリツを‘×10’にしていますか。 ■×20にしてください。 ■演出/効果のゴーストを使用している時や映像ワイプ中は、デジタルズームは使用できません。	39 41
映像ワイプが出来ない	●最後の場面を記憶した状態ですか。 ■映像ワイプを選んでから一度撮影してください。自動的に記憶します。 ●最後の場面を記憶した状態で、電源スイッチを‘切’にしませんでしたか。 ●電源が切れていませんか。(撮影一時停止を5分以上続けると、節電のために自動的に電源が切れます。) ●最後の場面を記憶した状態で、演出/効果を変更しませんでしたか。 ●メニュー画面の演出/効果を変更しませんでしたか。 ●最後の場面を記憶した状態で、場面切替を変更しませんでしたか。 ●リテイク、早送り、巻戻しをしませんでしたか。 ■以上のことをおこなうと最後の場面の記憶は解除され、映像ワイプできません。	26 29 21
ファインダーの表示が点滅する	■機能によっては場面切替、演出/効果、手振れ補正を同時に使用できないものがあります。使用できない機能は点滅して知らせます。	24 29
暗い所を撮影すると、コマ落し効果が出る	■暗い所を撮影すると、自動的に感度が上がり、カウンダ機能のようになります。自然に撮影したい時はメニューのカンダアップを‘AGC1,2’か‘切’にしてください。	39
ファインダー内にE01～E06などが表示された	■拡大故障を防ぐため操作ができなくなります。テープを取り出しバッテリーをはずして数分待ち、表示が消えてからお使いください。表示が消えない場合は、お買い上げ販売店、または最寄りのサービス窓口にご相談下さい。	—

このムービーはマイコンを使用しています

雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。そのときはムービーから電源(バッテリー、リチウム電池、ACパワーアダプターなど)を一度外してから、改めてご使用ください。

# 必ずお読みください

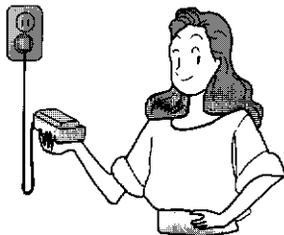
## バッテリーについて

上手な充電と使い方で長持ちさせます。

### 上手な充電と使い方

使用前に充電を！

- バッテリーは使用しなくても自己放電する特性があります。したがって充電せずに出荷しています。使用する直前か前日に充電してください。
- 充電するときの周囲温度は、10～35℃の温度範囲でおこなってください。



バッテリーは完全に使いきってから充電を！

完全に使いきる → 充電 → 完全に使いきる → 充電



- 使いきらないで充電するとバッテリーの容量低下の原因になります。  
(リフレッシュ機能付き充電器の場合は5回につき1回充電させます。リフレッシュ機能付きバッテリーもあります。)

### 使用時間が短くなってきたら

バッテリーには寿命があります！

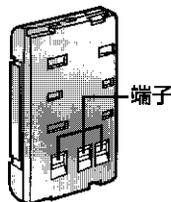
- 長時間(約1年)保存されたバッテリーは、はじめ使用時間が若干短めです。  
充電と放電(使いきる)を数回繰り返すとバッテリーの容量が回復します。  
完全に使いきる → 充電 を繰り返しても使用時間が短いときは寿命がきていますので新しいバッテリーをお求めください。

次の場合にも撮影時間が短くなります。

- 寒冷地など温度の低いところでの撮影
- ズーミングをして撮影

#### ご注意ください

バッテリーを持ち運ぶときはビニール袋で包むなどして、端子にキーホルダーやネックレスなどの金属類が触れないようにしてください。事故の原因になります。



## 使用上のご注意

### 安全のため特にご注意ください

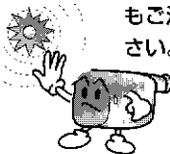
危険なうえ、故障の原因になることがありますので、次のことを必ずお守りください。

分解したり内部に異物を入れない



レンズを直接太陽に向けない

●反射物、高輝度の被写体にもご注意ください。



電源コードを傷つけない

●ACパワーアダプターなどの電源コードはプラグを持って抜く。



### 取り扱いのご注意

撮影中、再生中は電源を外さない

●テープを傷めたり、誤動作の原因になります。



衝撃を与えない

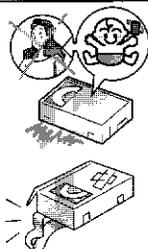


### テープの注意

●撮影済みテープに新しく撮影すると、前の映像と音は自動的に消えます。

●テープは裏返しでは使えません。

●テープを走行させないでテープの出し入れを繰り返さない。



### 使用場所の注意

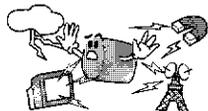
以下の場所での使用、放置は故障の原因となるのでお避けください。

湿気や油煙、ほこりの多い所

●砂浜などでの使用は内部に砂や海水が入らないように、また雨天、降雪中の使用では、濡らさないようにご注意ください。



強い電波や磁気の発生する所雷が近いときは使用しない



温度が高い所



### リチウム電池の注意

充電、ショート、分解、加熱、火に投入しない

ピンセットなどの金属物で絶対につままない



幼児の手の届かない所におく

その他

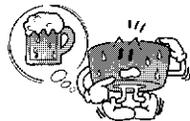
# 必ずお読みください (つづき)

## つゆつきについて

よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに徐々に水滴が付きます。この状態を 'つゆつき' といいます。

〈湿気は大敵〉つゆつきが発生すると

ムービーの心臓部であるヘッドドラムの周りに徐々に水滴が付き、テープが貼り付き傷ついてしまいます。



ファイnder内につゆつきマークが出たらムービーは停止します。

## つゆつきはこんなときにおこります

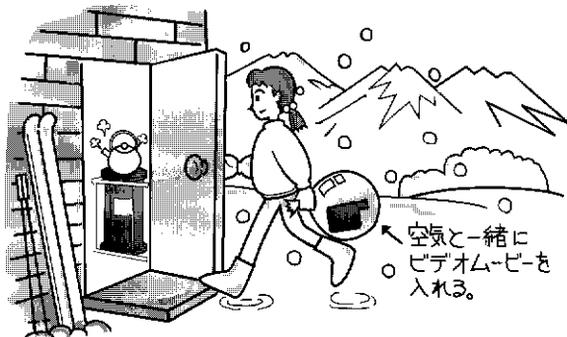
- ムービーを寒いところから急に暖かいところに移動したとき。
- 湿気の多いところでの使用時。
- 暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるとき。

## つゆつきのトラブルを防ぐには

つゆつきのおこるような環境での使用は、移動時にムービーとテープをしばらくおいて、その環境になじませてからお使いください。

●例えば、スキー場で撮影後、暖房のきいた部屋に入るときはビニール袋等にムービーを入れて（一緒に空気も入れる）移動し、しばらくその状態で環境になじませるとつゆつき防止に効果的です。

- ・つゆつきはレンズにもおこります。きれいに撮影できませんのでつゆつきがなくなってから撮影してください。
- ・通常、つゆつきは徐々に進行し、10～15分間は現象が現われないことがあります。
- ・寒冷地域では露が凍結し、霜になることがあります。さらに時間がかかります。



## ファインダー内につゆつきマークが出たら

**1** 電源スイッチを‘切’にし、数時間待つ

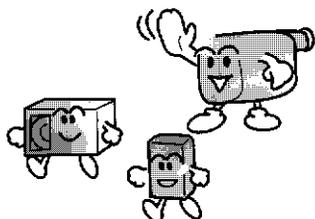
**2** 電源スイッチを‘撮影’か‘再生’にして数分待つ

●つゆつきマークが消えてから使用してください。

## 正しい保存のしかた

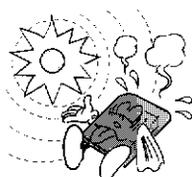
ふだん使用しないときはテープを出し、電源を切りバッテリーをはずしておく

●機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れ、チェックしてください。



温度が上がらない乾燥した所に保存する

●特にバッテリーは高温の所で寿命が短くなり、自己放電も多くなります。

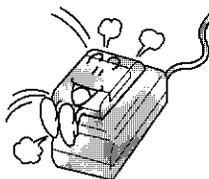


テープはケースに入れ、湿気が少なく風通しの良い、カビの発生しにくいところに立てておく

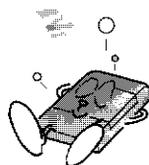


バッテリーは長時間使用しないときは機器からはずす

●電源を切っても微小電流が流れています。



バッテリーは長時間使用しないときは放電して（使いきって）保存する



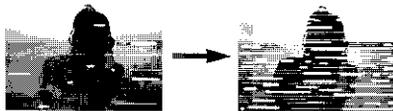
その他

# 必ずお読みください (つづき)

## ヘッドの汚れについて

ヘッドが汚れるとテープ再生時に、右のような症状が出ます。

クリーニングカセット TCC-2(別売) を使ってヘッドを清掃してください。



### ヘッドの汚れる原因は

#### 高温・多湿

●しばらくその環境になじませた後ご使用ください。

#### テープの傷

●傷のあるテープは磁性粉がはがれヘッド汚れの原因となります。

#### 空気中のほこり・ちり

#### 長時間の使用

●クリーニングカセットでクリーニングしてください。



#### ヘッドは摩耗します

クリーニングカセットで清掃しても鮮明な映像が映らない場合はチェックまたは交換が必要です。お買い上げ販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

## お手入れについて

### ボディーの汚れは

●お手入れのときは、電源をはずしておこなってください。

乾いた柔らかい布などで拭きとってください。

ひどい汚れは、水でうすめた中性洗剤に布を浸し、固く絞ってから汚れを拭き、乾いた布で仕上げてください。

化学ぞうきんや洗剤をご使用の際は、その注意書に従ってください。



### レンズはいつもきれいに

レンズブロー (市販) でほこりを落とし、レンズクリーニングペーパー (市販) などで清掃してください。

汚れたままでは、カビなどが発生する場合があります。

### 定期点検のおすすめ

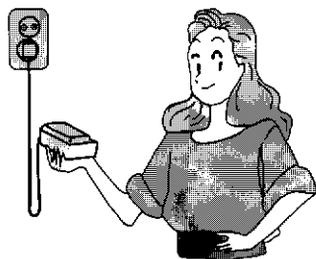
ヘッドやテープを動かす機械部品はお使いになる間に汚れたり、摩耗したりしています。性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくために、およそ1000時間をめどに点検されることをおすすめします。

# 海外で使う

## このムービーは外国でもお使いになれます

ACパワーアダプター（別売）は海外でもバッテリーの充電ができます。ただし、コンセントの形状は国によって異なるため訪問国のコンセントに合った変換プラグ（空港売店で販売）が必要です。くわしくはビクターサービス窓口にご相談ください。

コンセントの形状				
使用する変換プラグ	ACパワーアダプターのプラグを直接、差し込みます。主に北米、南米など			
	主にオーストラリア		主にヨーロッパ	



### 現地のテレビで見するには

NTSC方式の映像、音声入力端子付きテレビが必要です。

### 再生できるテープは

日本と同じNTSC方式で撮影したものです。

### 海外で万一故障した場合は

持ち帰った後、お買い上げ販売店にご相談ください。

（外国でのアフターサービスについてはご容赦ください。）

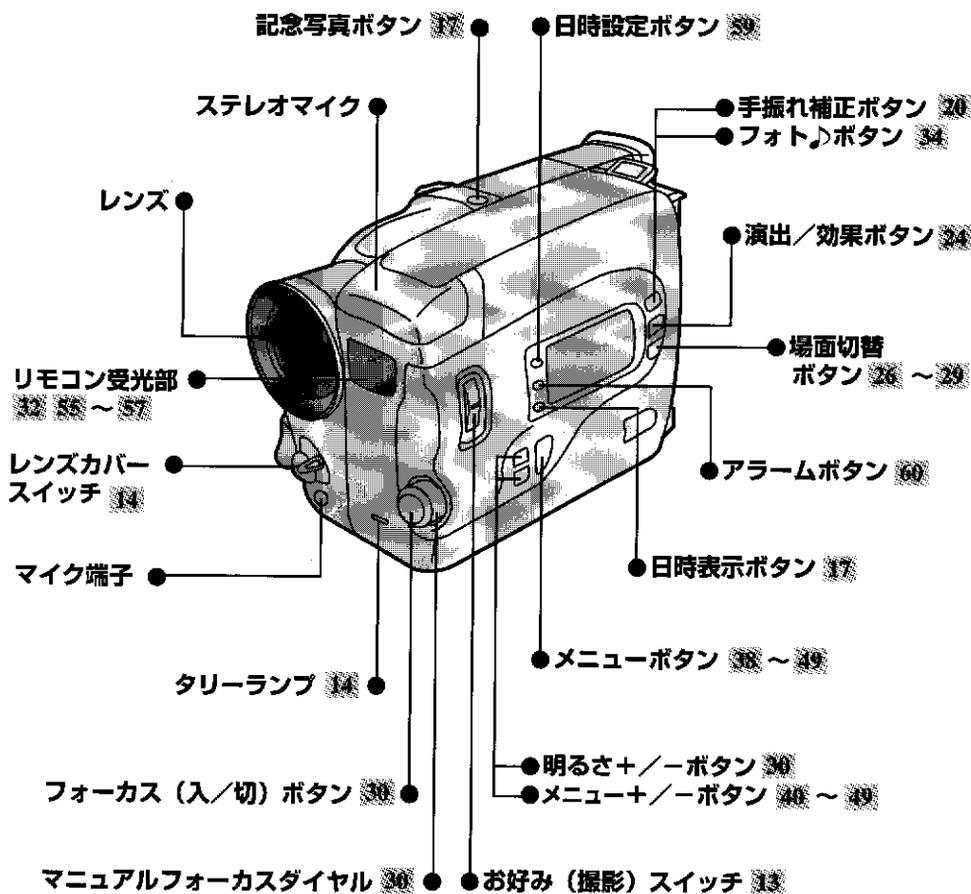
### 日本と同じNTSC方式の国です

- アメリカ合衆国
- ニカラグア
- ハイチ
- エクアドル
- バミューダ
- パナマ
- エルサルバドル
- プエルトリコ
- バハマ
- カナダ
- ベネズエラ
- バルバドス
- キューバ
- ペルー
- ミャンマー
- グアム
- 米領サモア
- ベトナム
- 韓国
- ボリビア
- フィリピン
- チリ
- グアテマラ
- ホンジュラス
- ドミニカ
- コスタリカ
- ミクロネシア
- トリニダード・トバゴ
- コロンビア
- メキシコ
- スリナム
- 台湾



その他

# 各部のなまえ

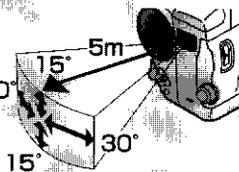


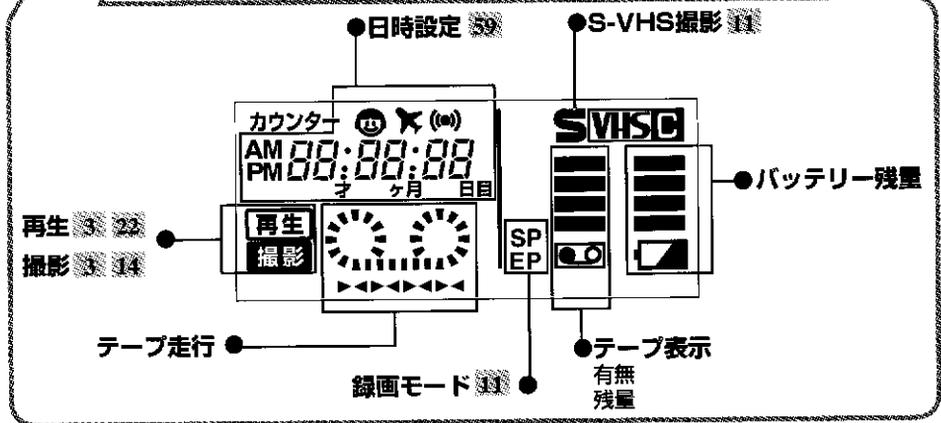
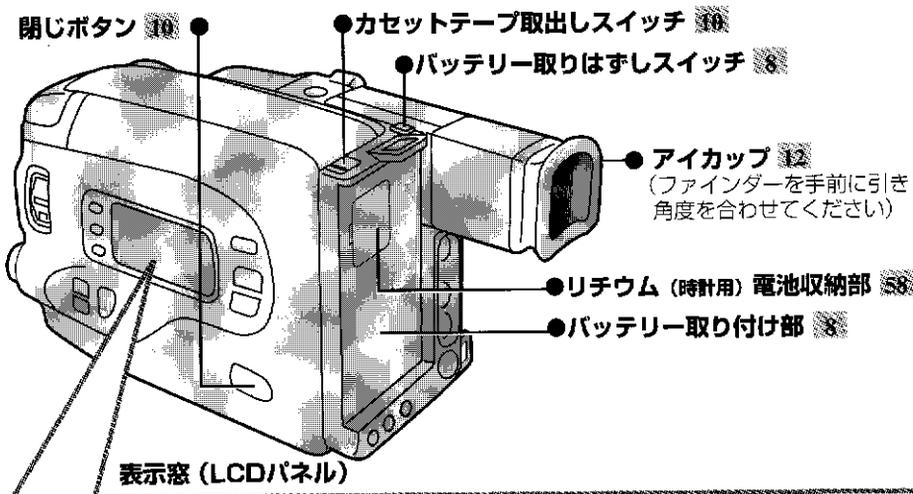
## マイク端子に別売の外部マイクをつないだとき

- ・ 本体表示窓の照明は消灯し、照明ボタンで点灯させることはできません。
- ・ 記念写真のシャッター音を出すことはできません。ただし、テープには記録されます。
- ・ 約10cmからピンポイントが合うようになります。

## リモコンの使用可能範囲

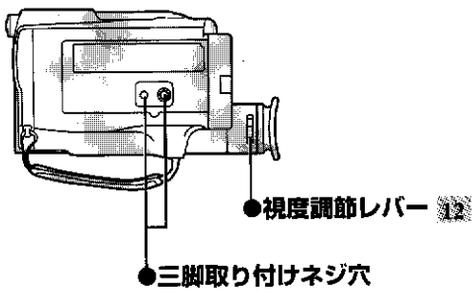
- ・ 直射日光や照明器具の強い光が当たると誤動作したり動作しないことがあります。





その他

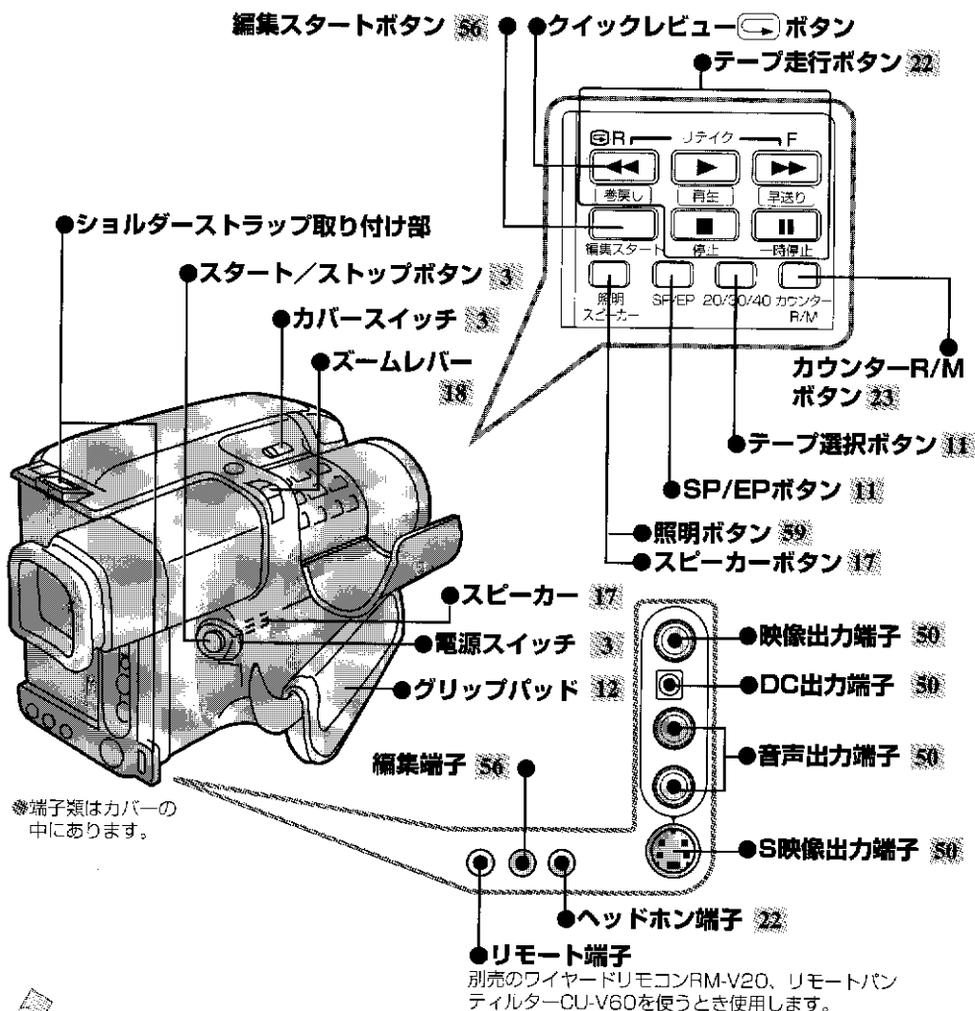
(底面)



アイカップを掃除するとき  
市販のレンズブローヤなどで清掃してください。

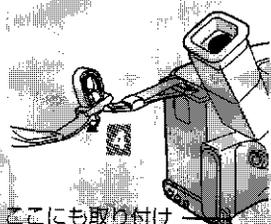
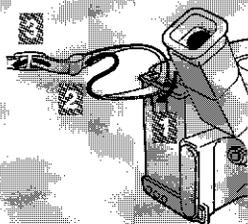


# 各部のなまえ (つづき)



## ショルダーストラップVU-V220 (別売) の取り付け方

ストラップを引っ張り、確実に付けられたか確認してください。

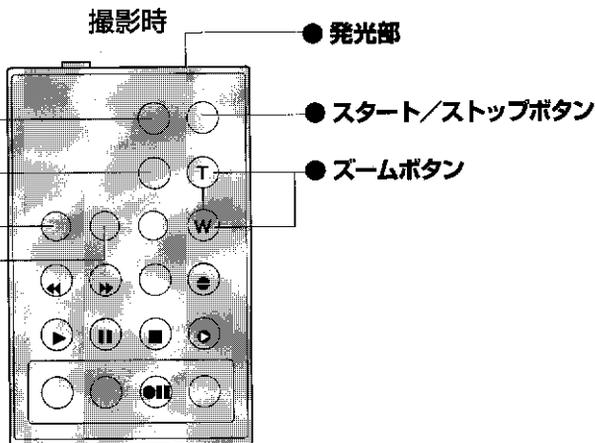


ここにも取り付けてください。

## リモコン

●ムービーと同名のボタンは  
同じ働きをします。

- 記念写真ボタン
- V I S S ボタン 32
- 録画タイム/アニメボタン 33
- インターバル/ 32 33
- セルフタイマーボタン

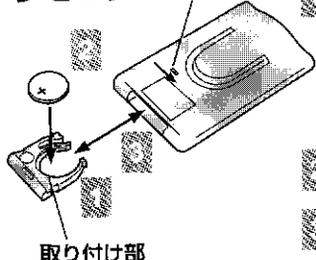


再生/自動編集時 32 55 ~ 57

- リモートポーズ入力端子
- 設定ボタン
- ビデオボタン
- アフレコボタン
- 早送りボタン
- 巻戻しボタン
- 一時停止ボタン
- 再生ボタン
- ここから/ここまでボタン
- 修正ボタン
- 挿入ボタン
- 停止ボタン
- 入/切ボタン
- ビデオ準備ボタン

その他

### リモコン



電池取り付け部を矢印方向  
に引き出す

●リモコンの電池取り付け部は、  
Aの部分にボールペンなどを差  
し込みスライドさせながら引き  
出します。

●リチウム電池の ⊕ 側を上にし取  
り付け部にのせる

●取り付け部を矢印方向にカチッと  
音がするまで差し込む



●リモコンの裏側のク  
リップを胸ポケット  
やベルトにはさむこ  
とができます。



# 主な仕様

## 電源

電源	DC6V
消費電力	8W (オートフォーカス時)
信号方式	NTSC日米標準信号
録画方式	S-VHS / VHS 規格
使用テープ	S-VHS / VHSテープ
テープ速度 (SP)	33.4 mm / 秒
(EP)	11.1mm/秒
録画時間	最大120分 (ST-C40使用時)
早送り・巻戻し時間	約 10分 (高速時約 4分) (ST-C40使用時)
撮像素子	CCD固体撮像素子
レンズ	10倍ズーム F1.2 (f = 5~ 50 mm) オートフォーカス付 フィルター径 46φ ※市販のフィルターの適合 サイズはφ58mmです。 同時に市販品のφ46mm -φ58mmのステップ アップリングが必要です。 φ46mmのフィルターを 使用した場合、画面の周 囲にケラレが生じます。
ファインダー	電子ファインダー (0.55型カラー)
最低照度	4ルクス (1x)
白バランス調整	自動/手動 6段階
アイリス	自動/固定
映像出力	1Vp-p 75Ω
音声出力	-8dBs (Low)
専用マイク	コンデンサータイプ/ステレオ
マイク端子	φ3.5mm -68dBs (High)
リモコン端子	φ3.5mm
ヘッドホン端子	φ3.5mm ステレオ
許容動作温度	0~40℃
許容相対湿度	35~80%

外形寸法	幅103×高さ114×奥行 185mm
質量	本体質量 約 820g 撮影時質量 約 1035g (バッテリー、BN-V12、テープST- C40含む)

## ズームレンズ

倍率	0.6倍
取り付けネジ径	φ46mm (レンズフード)
寸法	長さ40×幅 68 mm
質量	約120g (レンズフード含む)

## AA-V11 (別売) を使って充電

バッテリー	充電時間	連続撮影時間
BN-V12	約 70分	約 40分
BN-V15	約 85分	約 55分
BN-V22	約130分	約 85分
BN-V25	約160分	約115分
BN-V50	約170分	約105分
BN-V65	約130分	約 85分

その他

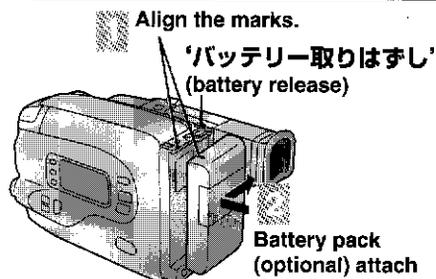


使用するバッテリーは<sup>ポルト</sup>6Vです。  
BN-V12、V15、V22、V25、V65はニカド  
電池、BN-V50はニッケル水素電池です。

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

# ENGLISH QUICK OPERATION GUIDE

## SUPPLY POWER



### A. Using the battery pack

- Align mark on battery pack with similar mark on back of camcorder.
- Slide the battery pack in the direction of the arrow until it locks into place.

#### To remove the battery pack

Slide 'バッテリー取りはずし' (Battery release) and slide out the battery pack.

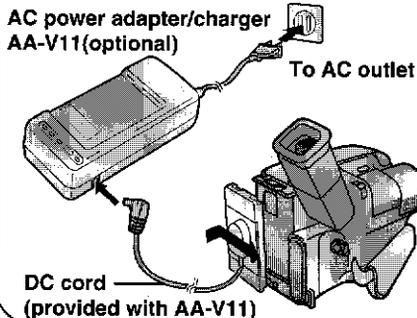
#### Caution:

Do not slide the battery excessively while removing. It may result in damage of the mechanical components.

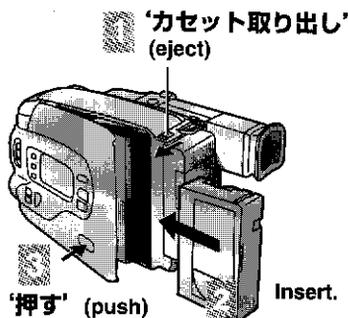
### B. Using the AC Power adapter/charger

To attach the DC cord to a camcorder:

Same as the battery pack(above).

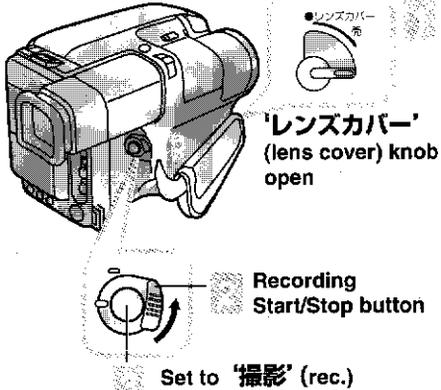


## INSERTING A VIDEO CASSETTE



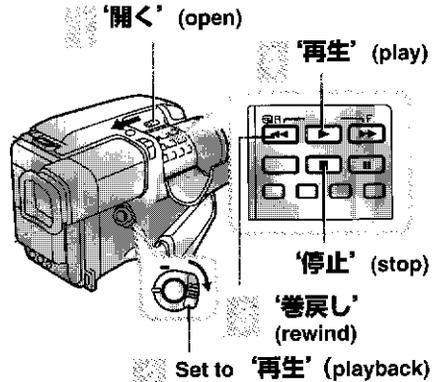
- Slide 'カセット取出し' (eject).
- Insert a video cassette.
- Press '押す' (push).

## SHOOTING



- ❖ Turn the 'レンズカバー' (lens cover knob) to open the lens cover.
- ❖ Set the power switch to '撮影' (rec.).
  - The power indication will light and image will be seen in the viewfinder.
- ❖ Press the Recording Start/Stop button.
  - Recording starts.
- ❖ To stop recording temporarily, momentarily press the Recording Start/Stop button once again.

## PLAYBACK



- ❖ Slide the '開く' (cover switch) to open the cover.
- ❖ Set the power switch to '再生' (playback).
  - Press '巻戻し' (rewind).
  - The tape will automatically stop at the beginning of the tape.
  - Press '再生' (playback).
  - Playback starts and playback picture appears in the viewfinder.
- ❖ To stop playback, press '停止' (stop).

Or simply play back the tape on a VHS VCR with SQPB or S-VHS VCR using the Cassette Adapter (C-P6, optional).

その他

# 索引

## ア

アイリス 31  
明るさ合わせ 31  
アニメ撮影 33  
アフレコ編集 52  
アラームを鳴らす 39・60  
インサート編集 52  
映像ワイプ 28  
演出/効果 24・42  
オートフォーカス 30  
オンスクリーンモード 16・51

## カ

海外で使う 69  
海外の現地時間に合わせる 60  
カウンター 23  
カセットアダプター 23  
カーバッテリーチャージャー 9  
カメラリハーサル 51  
記念写真モード 17  
クイックレビュー 15  
グリップバンド 12  
誤消去防止 10

## サ

撮影一時停止 14  
撮影の確認 15  
自動編集 56～57  
視度調節 12  
充電 8  
ショルダーストラップ 72  
白バランス 48  
ズーム 18  
接続 30  
セルフタイマー撮影 32

## タ

タイムラプス撮影 33  
ダビング 54～57  
つゆつき 67  
トラベルデート 60  
デジタルズーム 39

テープについて 11  
テープを入れる 19  
手振れ補正 20  
テレビで見る 23・50  
電源（コンセントで） 9  
（車で） 9  
（バッテリー） 8  
トラッキング 51  
撮る姿勢 15

## ナ

日時合わせ 59～61  
ノイズが出たら 51

## ハ

バッテリー 8・64  
バッテリーアラーム 74  
場面切替 26・29・44  
ピント合わせ 30  
ファインダー内表示 74  
ファインダーのピント合わせ 12  
フェードイン/アウト 26・28・44  
ヘッド汚れ 69  
編集 52～57  
ホワイトバランス 48

## マ

メニュー設定 38～49

## ラ

リテイク 21  
リチウム電池 58・73  
リモコン 32・52・55～57・75  
録画方式 11

## ワ

ワイプイン/アウト 26・29・44

ACパワーアダプター 8・9  
RFユニット（別売） 59  
SP / EPモード 11  
VISS書き込み 32

# 保証とアフターサービス

## 保証書 別冊が付いてきます

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

## 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、ムービーの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理依頼されたムービー (VHSビデオ)

62、63ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、接続機器の電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。  
万一本機およびコンパクトビデオテープ等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

## 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店およびビクターサービスにて修理させていただきます。

## 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

## ご連絡していただきたい内容

品名	VHSビデオムービー
型名	GR-EX1
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	
お名前	
電話番号	

その他

## 愛情点検

◆長年ご使用のムービーの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような  
症状は  
ありませんか

- 再生しても映像や音が出ない。
- 異常な臭いや音がある。
- 水や異物が入った。
- その他の異常や故障がある。



ご使用  
を  
中 止

故障や事故防止のため、  
電源を切り、必ず販売店  
に点検をご相談ください。



省エネで  
守る環境  
豊かな暮らし



JVC Loves the Earth

— アフターサービスのお問い合わせ先 —

アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げ販売店または別紙「サービス窓口案内」をご覧ください。79ページの「保証書とアフターサービス」もお読みください。

お客様ご相談センター

東京

☎ (03) 5684-9311

〒113 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大阪

☎ (06) 765-4161

〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル



JVC

日本ビクター株式会社

ビデオ事業部

〒221 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 電話(045)453-1111 [代表]